

# 三好市地域情報化計画

平成27年3月

徳島県三好市



## はじめに



本市の情報化につきましては、これまでケーブルテレビ網の整備、庁内各種システムの構築・刷新などを進めてきた結果、基盤面においては充実しつつあり、また、自治体業務についても円滑に進めることができているのではないかと存じます。

しかしながら、社会環境は変化しており、中でも情報通信技術（ICT）の進展は目覚ましく、情報通信機器やインターネットの利用者が増加するなどICTは、市民生活の利便性向上などにますます重要な役割を果たすようになってきております。

それに伴い、行政に求める市民ニーズも高度化・多様化しているように感じております。こうした状況に鑑<sup>かんが</sup>み、国においても、一昨年の6月に「世界最先端IT国家創造宣言」が策定され、今後数年の間に世界最高水準のICT利活用社会を実現するとされております。

本市のように、広大な行政面積を有する自治体において、限られたリソースで医療、教育、福祉、産業など地域の様々なサービスを充実発展させてゆくためには、ICTの利活用が非常に有効であることはご承知かと思います。

市民生活の利便性向上と地域活性化を実現するために、これまで整備してきた基盤やこれから整備するICT利活用方策を推進するにあたって、この度、その指針となる「三好市地域情報化計画」を策定いたしました。

今後、市民の皆様との協働・連携のもと、ICTの安心・安全な利活用の推進など、各種施策を積極的に展開し、地域情報化を更に進めてまいりますので、皆様方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、計画の策定にあたりまして、アンケート調査等により貴重なご意見やご協力をいただきました市民の皆様をはじめ、三好市地域情報化計画審議会の委員の皆様、関係各位に心から感謝申し上げます。

平成27年3月

徳島県三好市長 黒川 征一

# 目次

はじめに

## 第1章 計画の基本的な考え方 ..... 1

- 1-1 計画策定の趣旨 ..... 2
- 1-2 計画の位置づけ ..... 3
- 1-3 計画の期間 ..... 3

## 第2章 地域情報化に関する社会の動向 ..... 4

- 2-1 情報通信に関する社会・経済の動向 ..... 5
- 2-2 国・県のICT施策の動向 ..... 6

## 第3章 情報化の取り組みと現状 ..... 8

- 3-1 本市の情報化への取り組み ..... 9
  - (1) 地域公共ネットワーク整備事業 ..... 9
  - (2) 地域情報通信基盤整備事業 ..... 9

## 第4章 基本理念、基本目標と重要施策 ..... 10

- 4-1 基本理念 「ICTの利活用による地域活性化」 ..... 11
- 4-2 基本目標 ..... 11
  - 主要目標1 定住と交流を育むまち ..... 11
  - 主要目標2 豊かで生き生き、安心・安全なまち ..... 11
  - 主要目標3 地域性を活かし魅力ある煌めくまち ..... 11
  - 主要目標4 住民参画を基本とした協働のまち ..... 11
- 4-3 施策の体系 ..... 12

## 第5章 計画の推進について ..... 27

- 5-1 推進体制 ..... 28
- 5-2 推進における留意事項 ..... 28

第6章 用語集 ..... 29

〔資料編〕 ..... 35

三好市地域情報化計画審議会条例..... 36

三好市地域情報化計画審議会委員..... 37

アンケート調査結果..... 39



# 第1章 計画の基本的な考え方

### 第1章 計画の基本的な考え方

#### 1-1 計画策定の趣旨

情報通信技術（ICT）の発展は生活の利便性を高め、今後も光ファイバーや無線通信による高速で大容量のネットワーク網が整備され、スマートフォンやタブレット端末などの新しいICT機器の普及も進み、さらに便利で安心して豊かな生活を実現できる可能性が秘められています。パソコンや携帯電話の普及は生活を一変させ、多くの人が携帯電話を持ち、通話やメールで連絡を取り合い、インターネットで必要な情報を得たり買い物を済ませたりできるようになりました。ICTの利活用によって、時間的制約や地理的条件を乗り越え、多彩な情報発信や収集を行うことにより、社会生活の中に新たなつながりを生み出し、コミュニティを発展させ、現在または近い将来において地域が直面する課題を克服する効果が期待されています。

これまで国の政策として進められてきた地域情報化はインフラ整備をほぼ終え、その利活用の段階に移っています。地域の判断や創意工夫によって、積極的な利活用を推し進めていくことが期待されています。全国的には、ICTを駆使したサービスや仕組みによって、地域の諸課題への取り組みが始められてきており、既に先進地域では初期の課題解決の目的を達成させ、一定の効果をあげている事例があります。

本市は、平成18年3月に4町2村が合併して誕生し、四国一の広大な面積を擁する市となりました。合併によって可能となった効率的な行政や、専門性の高い施策展開など、多くの合併効果が期待される一方、均衡な市域の発展や安心な暮らしの確保という点においては課題が多く、今なお十分でない市民の一体感や市民協働の取り組み、地域経済の活性化、子どもたちの教育環境の向上や高齢者の生活に対する安心確保、あるいは想定を上回る自然災害への対策強化など、地域の課題や目標に対する具体的な取り組みが急務となっています。本市においては、光ファイバーなどの高速通信回線や携帯電話基地局などの整備は進み、市内全域において高速なブロードバンド接続サービスが提供されています。

豊かな地域生活の向上や、効果的なまちづくりの仕組みの一助として、ICTの果たせる役割や可能性への期待は大きなものがあります。

このようなことから、地域の市民生活に情報化のメリットを最大限に活かすため、ICTを効率的に利活用する基本的な方針を定め、今後取り組むべき事項を明らかにすることを目的として、「三好市地域情報化計画」を策定します。



### 1-2 計画の位置づけ

---

本計画は、国や県のICT施策を踏まえ、上位計画である「三好市総合計画」に掲げた目標の達成に向けて、これを情報化の側面から支援し、市民生活における効果的なICTの利活用促進や、地域情報化施策の事業化や推進策などについて、方向性を示すものです。

本計画で示すICT利活用の方向性には、経費的な制約あるいは技術的進歩や情報通信市場、利用者環境の変化によっては内容の変更が予見されるものも含まれますが、ICTの利活用を図るために調査・研究、検討も含め、直接あるいは間接(支援、働きかけ等)に取り組んでいくべきものを記載することとします。

取り組みの具体的な推進にあたっては、関係部局はもとより、活動団体や民間事業者との連携も図りながら、市民ニーズや技術動向、民間分野におけるICTサービスの動向なども的確に把握し、費用対効果も考え併せてICTの効果的な利活用に取り組んで行くこととします。

### 1-3 計画の期間

---

本計画の計画期間は平成27年度から平成31年度までの5年間とします。

ただし、情報通信技術の進展が極めて急速であることから、技術動向や社会情勢の変化、市民ニーズ等を注視し、必要に応じて見直しを行います。



## 第2章 地域情報化に関する社会の動向

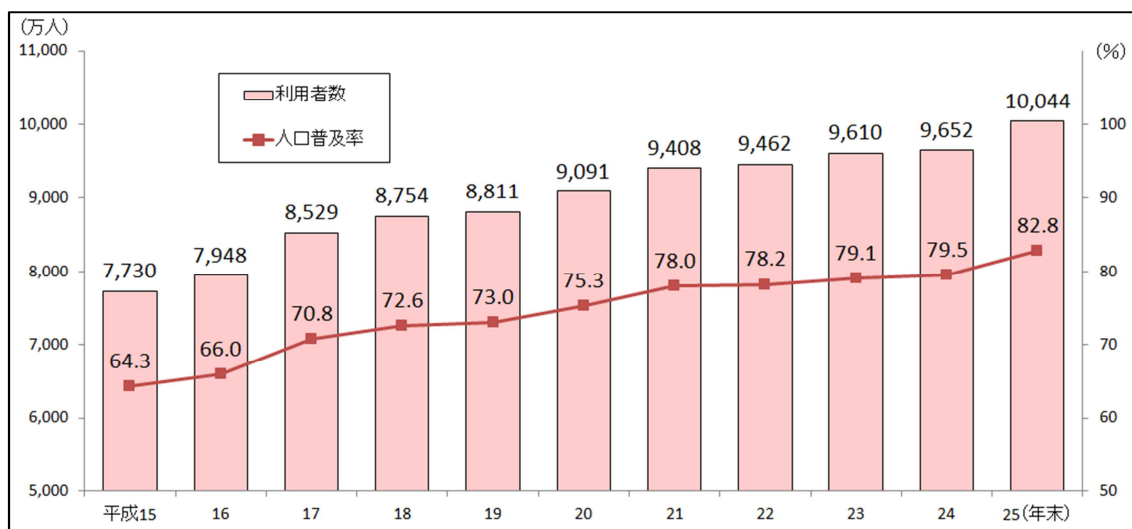
## 第2章 地域情報化に関する社会の動向

## 2-1 情報通信に関する社会・経済の動向

急速に進展する情報化は、近年のインターネットの普及がもたらした影響といえます。

地方においては、首都圏など都市部との情報格差や時間・距離の制約を減少させることができる点など、市民の生活向上や地域産業の振興を図る上で非常に期待され、地域課題の克服や地理的条件を補うためにも、あらゆる分野でインターネットを活用した取り組みが必要となっています。

全国のインターネット利用人口は平成25年末で調査開始後初めて1億人を超え、人口普及率は82.8%となり、生活の中にインターネットは着実に浸透しています。また、パソコンだけでなく様々なICT機器から、職場や家庭だけでなく移動中を含めたあらゆる状況でインターネットを利用する状況になりつつあり、インターネットは大きな利便・恩恵をもたらす、目には見えない生活の必需品となっています。



(出典：総務省「平成25年通信利用動向調査」)

図表：インターネットの利用者数及び人口普及率の推移

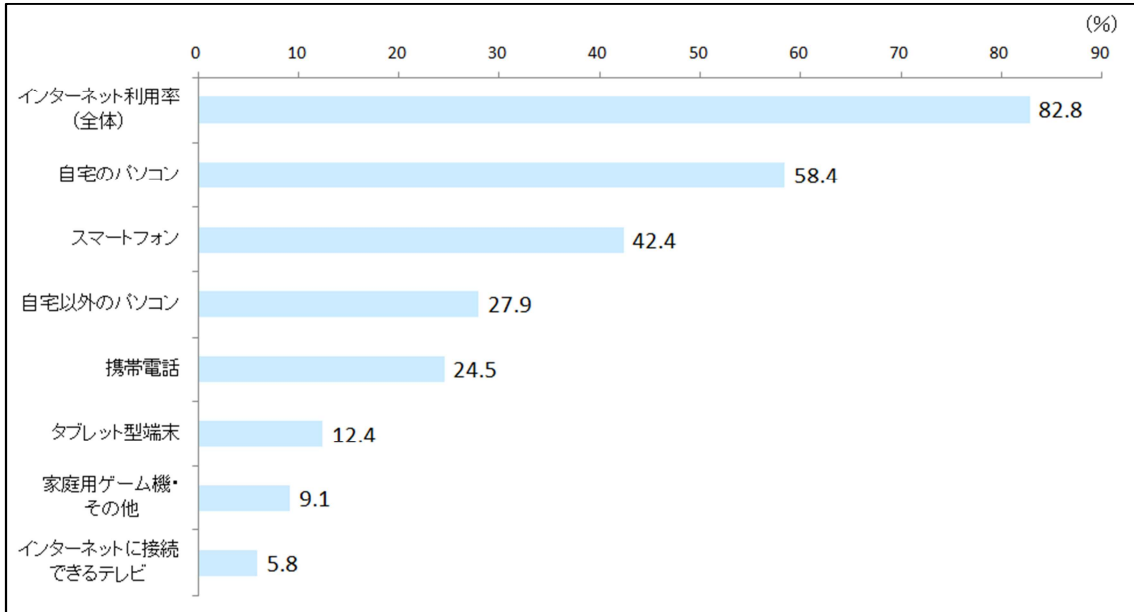
携帯電話を代表とするモバイル機器の契約数も年々増加し、モバイルネットワークも普及しています。また、平成23年7月には地上デジタル放送への完全移行や、情報通信ネットワークを活用した情報家電等の活用も進んでいます。

これらのブロードバンド、モバイル、地上デジタル放送、ICT機器等の進展により、「いつでも、どこでも、何でも、だれでも」ネットワークに接続し、情報の自在なやりとりを行うことができるユビキタスネットワークの実現に向かいつつあります。

企業においても、ブロードバンド、モバイルネットワークの活用が着実に進展するとと

## 第2章 地域情報化に関する社会の動向

もに、電子タグ、非接触型ICカード等の活用への取り組みが活発に行われており、インフラ整備などによる業務の効率化だけではなく、戦略的に活用することが重要となっています。



(出典：総務省「平成25年通信利用動向調査」)

図表：インターネット利用端末の種類

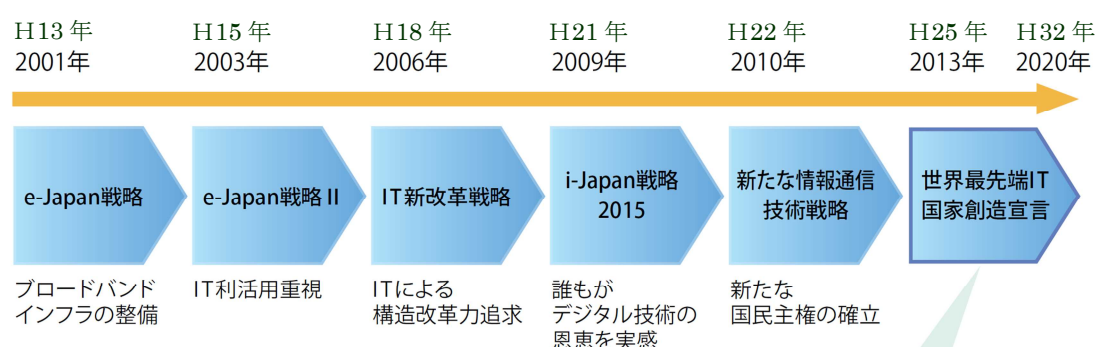
### 2-2 国・県のICT施策の動向

政府は、平成13年1月に、「高度情報通信ネットワーク社会形成基本法」(平成12年法律第144号)を施行するとともに、「高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部」(IT総合戦略本部)を設置し、高度情報通信ネットワーク社会の形成に関する施策を迅速かつ重点的に推進しています。

平成25年1月、IT戦略の立て直しに関する安倍総理大臣からの指示を受け、平成25年3月よりIT総合戦略本部の下に「IT戦略起草委員会」を設置して検討を行い、同年6月、IT総合戦略本部決定を経て、新たなIT戦略(世界最先端IT国家創造宣言)を閣議決定しました。

また、IT総合戦略本部の下に、「世界最先端IT国家創造宣言」の進捗管理を行うため、内閣情報通信政策監(政府CIO)を会長とする新戦略推進専門調査会を設置し、重点分野については、専門調査会の下に9つの分科会(電子行政、新産業、農業、医療・健康、防災・減災、道路交通、人材育成、規制制度改革、マイナンバー等)を設置しました。政府CIOが中心となり、各府省の役割分担と達成すべき目標を明確化した「工程表」の推進に関して具体的な議論を行い、平成26年6月に「世界最先端IT国家創造宣言」及び「工程表」を改定しました。

徳島県では、平成16年3月に「e-とくしま推進プラン」を策定し、「県民誰もが、ICTの利便性を享受し、ICTを暮らしに活かし、個人が、地域が、産業が活力あふれ、県全体がいきいきとした徳島e-とくしま」の実現を目指し、官民協働で、情報通信基盤の整備を中心とした地域情報化の推進に取り組んできました。「e-とくしま推進プラン」が平成25年度末をもって終了することに伴い、ICTを課題解決ツールとして効果的・積極的に利活用するための指針として、平成26年3月に「ICT（愛して）とくしま創造戦略」が策定され、「ICTを課題解決ツールとして効果的・積極的に利活用することにより、安全安心で活力あふれる地域を創造する」という基本理念のもと、各種施策が展開されています。



**世界最先端IT国家創造宣言 (平成25年6月14日閣議決定)**

本戦略の目標は、今後5年程度の期間(2020年まで)に、「世界最高水準のIT利活用社会」を実現し、その成果を国際展開すること。

〈目指すべき3本柱〉

1. 革新的な新産業・新サービスの創出及び全産業の成長を促進する社会  
(公共データの民間開放、ビッグデータの利活用推進、地域の活性化等)
2. 健康で安心して快適に生活できる、世界一安全で災害に強い社会  
(防災・減災体制の構築、雇用形態の多様化とワークライフバランスの実現等)
3. 公共サービスがワンストップで誰でもどこでもいつでも受けられる社会  
(利便性の高い電子行政サービス、国・地方を通じた行政情報システムの改革等)

(出典：徳島県「ICT（愛して）とくしま創造戦略」)

図表：国家のIT戦略の推移

## 第3章 情報化の取り組みと現状

## 第3章 情報化の取り組みと現状

### 3-1 本市の情報化への取り組み

#### (1) 地域公共ネットワーク整備事業

地方公共団体等が所有し、非常災害時に重要な拠点となる地域の公共機関等（指定避難場所を含む）をつなぐ地域公共ネットワークについて、防災上の観点から、地理的条件等により切断が想定される箇所の一部を無線による多重化や、有線迂回路の整備を行い、地域の情報通信環境の強じん化を実現しています。

総務省による平成24年度補正予算にて、「地域公共ネットワーク等強じん化事業費補助金」の交付を受け、整備を進めてきました。

#### (2) 地域情報通信基盤整備事業

地域間の情報格差是正と地域活性化を目的に、市内のケーブルテレビ未整備地区に対して、F T T Hでエリア拡張を行い、ケーブルテレビ放送による完全デジタル化への対応により難視聴地域の解消を行ってきました。また、超高速ブロードバンドによるインターネット接続サービスや地域I P電話網による告知放送サービスの提供、市民ニーズに即したコミュニティ番組や行政情報の提供を行い、地域コミュニティ、行政広報の充実を目指します。

ケーブルテレビについては、サービス開始前に自治会単位での加入説明会の開催や市報等にサービス提供の案内文を掲載し、加入者負担金を特別料金での適用などにより、サービス開始の初年度から、およそ8割以上の加入率を達成しており、想定されていたテレビ放送の完全デジタル化による難視聴地域の問題にも対応できたことで、他地域との情報格差はおおむね解消できていると評価できます。

ブロードバンドによるインターネット接続サービスについては、三野・井川地区においては目標加入率を達成できていないものの、加入率は増加傾向にあります。このことは、平成23年4月1日より指定管理者制度を導入し、株式会社池田ケーブルネットワークが管理・運営し、積極的な加入促進の取り組みが行われたことによるものが大きく影響していると思われ、今後も継続した取り組みを行っていく必要があります。また、山間僻地の対象地域では高齢者世帯が多く、その大多数がパソコンを所持していないことが考えられるため、高齢者が利用しやすいサービスやコンテンツを充実させることが重要課題であり、地域の安心安全や活性化につながるケーブルテレビ網の利活用方策を講じることが必要となります。

## 第4章 基本理念、基本目標と重要施策



## 第4章 基本理念、基本目標と重要施策

### 4-1 基本理念

#### ICTの利活用による地域活性化

ICTは、リアルタイムで情報を「収集・解析・可視化」することにより経済・社会活動のさらなる効率化への道を開き、個人や自治体・関係機関等の「知識集約・協働」を促進することで、利便性の向上、経済・社会活動の効率的遂行などが可能となり、個人や自治体・関係機関等の関連性を強化し、地域活性化、地域社会の再生に寄与します。

### 4-2 基本目標

#### 主要目標1 定住と交流を育むまち

整備されたブロードバンド網を利活用した生活環境の中で、快適に暮らせるまちを目指します。ICTの利活用と地域住民の交流を結び付けることで、一体感の確保を促進し、地域住民が楽しく暮らし、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。

#### 主要目標2 豊かで生き生き、安心・安全なまち

家族ぐるみ、地域ぐるみ、まちぐるみで支え合い、安心して健やかに生活を営むまちを目指します。ICTの利活用による医療・福祉・子育ての充実を図るとともに、住民一人ひとりが地域との関わりを持ち、生活し易いまちづくりを進めます。

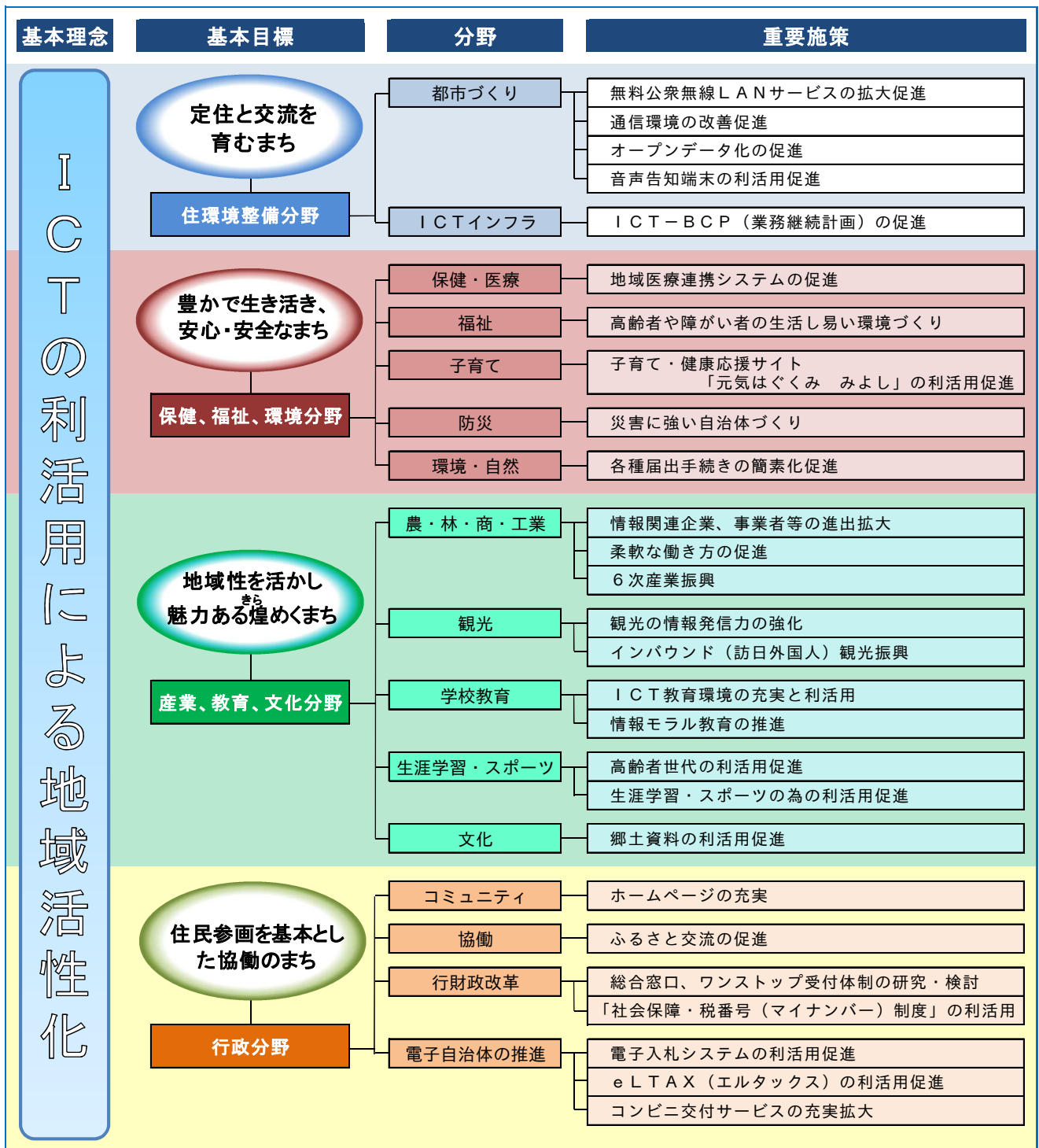
#### 主要目標3 地域性を活かし魅力ある<sup>きら</sup>煌めくまち

豊かな自然と美しい景観という特性を活かした魅力あるまちを目指します。ICTの利活用により、歴史的・文化遺産を後世に継承し、地域で生涯にわたって学習することで、森林や生産農地などの効率的な運営による快適なまちづくりを進めます。

#### 主要目標4 住民参画を基本とした協働のまち

住民から信頼され開かれた行政サービスを実現する住民協働のまちを目指します。ICTの利活用による電子自治体の推進を図り、地域住民が積極的にまちづくりに参画し、地域の力と可能性を最大限に発揮できる「住民主体」のまちづくりを進めます。

4-3 施策の体系



**【定住と交流を育むまち】**  
(都市づくり、ICTインフラ)

アンケート調査結果では、インターネットを利用するにあたって「通信料金が高い」、「回線速度が遅い」といった不満と、「満足できる接続環境が整えられていない」から、インターネットを利用していないといった状況から、いつでも、どこでも、快適にインターネットサービスを楽しむよう、無料公衆無線LANサービス拡大と通信環境の改善が求められています。

「市の統計・調査に関する情報」すなわち公共データが、「情報公開の推進」として今後充実していくべき情報化の分野として挙げられており、オープンデータ化に取り組み公共データの利活用環境整備を推進する必要があります。

自宅で行政情報や防災情報を受信することができる音声告知端末を、本市内からの必要な「災害や防災に関する情報（緊急情報、安否情報、救援物資情報など）」の受信機として必要な箇所に必要な情報を届けることが出来るように放送区域を細分化することで利活用促進を図ります。

より充実していくべき情報化の分野について「危機管理・防災の充実」との意見があり、初動計画を基にICT-BCP（業務継続計画）を推進していかなければなりません。

1-1

施策	無料公衆無線LANサービスの拡大促進
主管（関連）	情報政策課（観光課、地域振興課、生涯学習・スポーツ振興課）
背景	アンケート調査結果（問3-6）から、インターネット利用時の不安や不満として「通信料金が高い」「回線速度が遅い」といった意見と（問8-3）から、将来の情報化に期待することでは「情報端末などがいつでも自由に利用できる施設が整備されている」といった意見があります。
関連施策	1-2、1-5、2-2、2-4、3-5、3-6、3-7、3-8、3-9
内容	観光地やその周辺の総合案内所、道の駅等で無料公衆無線LANサービスの拡大を促進します。 市民や外国人観光客が自身の所有するICT機器を用いて、自由にインターネットに接続できるよう、無料公衆無線LANサービスを促進し、いつでも、どこでも快適にインターネットを利用することが可能なユビキタス環境の整備が求められます。 地域イントラネットワークの貸出し等により、民間電気通信事業者と協力し、地理的な情報通信格差是正を図ります。

## 第4章 基本理念、基本目標と重要施策

### 1-2

施策	通信環境の改善促進
主管（関連）	情報政策課
背景	アンケート調査結果（問3-6）から、インターネット利用時の不安や不満として「回線速度が遅い」といった意見と（問3-7）から、インターネットを利用していない理由として「満足できる接続環境が整えられていない」といった意見と（問8-2）から、情報化を進めるにあたって、特に注意すべき点は「CATV（ケーブルテレビ）網などの高速大容量ネットワーク基盤整備を行う」といった意見があります。
関連施策	1-1、2-1、2-2、3-1、3-2、4-5、4-6
内容	<p>情報通信基盤のさらなる充実と災害への対応を図るとともに、適切な維持管理を行い、市内全域での通信環境に格差のないように努めます。</p> <p>平成25年度までに市内FTTH網化の完了したケーブルテレビでは、行政からの情報や地域に密着した番組作成・防災情報の発信などを通じて、まちづくりに利活用します。</p> <p>引き続き携帯電話の不感地区、高速インターネット（光）回線の未整備地区などについて情報収集を行い、通信事業者に要望を伝え整備を働きかけます。</p>

### 1-3

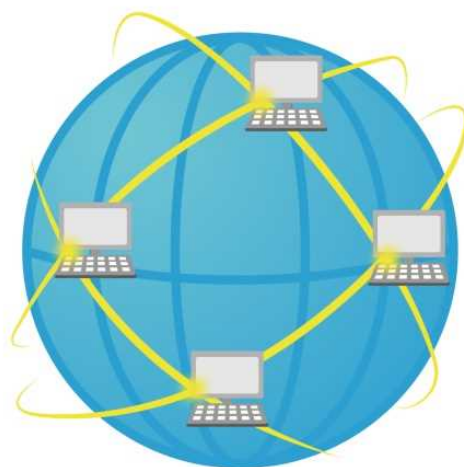
施策	オープンデータ化の推進
主管（関連）	情報政策課（全庁）
背景	アンケート調査結果（問6-1）から、本市内からの必要な情報として「市の経済・産業に関する情報」「市の統計・調査に関する情報」といった意見と（問8-1）から、充実していくべき情報化の分野について「情報公開の推進」といった意見と（問8-2）から、情報化を進めるにあたって、特に注意すべき点は「適切で信頼性の高い情報提供を行う」といった意見があります。
関連施策	1-5、2-4、3-1、3-3、4-1
内容	<p>公共データを二次利用可能な形で提供することにより、市場における編集、加工、分析等の各段階を通じて、様々な新ビジネスの創出や企業活動の効率化等が促されます。本市の保有する公共データの利活用環境整備を目的にオープンデータ化に取り組み、行政の透明性・信頼性の向上、市民参加・官民共同の推進、経済の活性化・行政の効率化が三位一体で進み、地域活性化に繋がるように推進していきます。</p>

1-4

施策	音声告知端末の利活用促進
主管（関連）	情報政策課（全庁）
背景	アンケート調査結果（問6-1）から、本市内からの必要な情報として「災害や防災に関する情報（緊急情報、安否情報、救援物資情報など）」「ごみ処理の日程など生活環境に関する情報」「不審者や犯罪の発生などの防犯に関する情報」といった意見があります。
関連施策	1-5、2-4、4-2
内容	自宅にしながら行政情報を受信することが出来る音声告知端末の利活用を促進します。現在配備している音声告知端末では、旧町村単位でのみ放送区域を選択可能である為、区域の細分化を行い、必要な箇所に必要な情報を届けることが出来る仕組みづくりが必要となります。例として、水道の断水情報、災害等による道路通行禁止情報があります。

1-5

施策	ICT-BCP（業務継続計画）の推進
主管（関連）	情報政策課（全庁）
背景	アンケート調査結果（問8-1）から、より充実していくべき情報化の分野について「危機管理・防災の充実」といった意見があります。
関連施策	1-1、1-3、1-4、2-4、3-1
内容	南海トラフ巨大地震への対策として、初動計画を基にICT-BCP（業務継続計画）を推進します。非常災害時に最低限必要な行政サービスの提供を維持することを目的に、国のガイドライン等を参考に、情報システム・ネットワークの非常災害時等を想定したICT-BCP（業務継続計画）を推進し、全庁横断的に取り組みます。



**【豊かで生き生き、安心・安全なまち】**  
**（保健・医療、福祉、子育て、防災、環境・自然）**

アンケート調査結果では、より充実していくべき情報化の分野について「健康・医療サービスの充実」といった意見から、地域医療連携システムの促進は必要であり、「高齢者や障がい者福祉の充実（介護サービスを含む）」といった意見から、高齢者や障がい者の生活し易い環境づくりは急務であります。

本市内からの必要としている、又は関心のある情報として「急病などに対応できる病院案内などの救急医療や病院の情報」「健康づくり、子育てなどの健康・保健情報」といった意見から、子育て・健康応援サイト「元気はぐくみ みよし」の利活用促進が必要であります。

「災害や防災に関する情報（緊急情報、安否情報、救援物資情報など）」といった意見から、災害に強い自治体づくりは求められ、「ごみ処理の日程など生活環境に関する情報」といった意見から、環境関連の情報発信と各種届出手続きの簡素化促進を図ります。

2-1

施策	地域医療連携システムの促進
主管（関連）	保険医務課（長寿・障害福祉課）
背景	アンケート調査結果（問6-1）から、本市内からの必要としている、又は関心のある情報として、「急病などに対応できる病院案内などの救急医療や病院の情報」といった意見と（問8-1）から、より充実していくべき情報化の分野について「健康・医療サービスの充実」といった意見と（問8-3）から、将来の情報化に期待することでは「家にいながら健康状態を伝え、医師の診断・指示を受けたり、急患の場合の救急病院の案内・応急処置の仕方などの情報が得られる」といった意見があります。
関連施策	1-2、2-2、2-4
内容	市立病院と地域の診療所や介護施設等の関係機関において、患者情報の地域医療連携システムを促進します。 患者情報のアーカイブ化を推進し、緊急災害時であっても患者情報の共有が可能なよう、全国の先進事例を調査し、対象医療機関の範囲やシステムの仕様、運用方法等を検討し、効率的な地域医療を促進します。



2-2

施策	高齢者や障がい者の生活し易い環境づくり
主管（関連）	長寿・障害福祉課
背景	アンケート調査結果（問3-1）から、インターネットを利用していない高齢者の方の多くが（問3-7）から、利用していない理由として「利用する必要がない」「利用方法がわからない」といった意見がある中、（問6-1）から、本市内からの必要としている、又は関心のある情報として、「災害や防災に関する情報（緊急情報、安否情報、救援物資情報など）」といった意見と（問8-1）から、より充実していくべき情報化の分野について「健康・医療サービスの充実」「高齢者や障がい者福祉の充実（介護サービスを含む）」「生涯学習の充実（高齢者向けのパソコン講座の充実など）」といった意見、（問8-2）から情報化を進めるにあたって、特に注意すべき点は「機器の操作はできるだけ簡単なものにする」「機器の使い方についての講習などが受けられる場所や機会を確保する」といった意見があります。
関連施策	1-1、1-2、2-1、3-7、3-8、3-9、3-10、4-3
内容	高齢化率が40%の本市において、高齢者や障がい者の生活し易い環境づくりが必要になります。ひとり暮らし高齢者の見守りや買い物支援等の生活面が課題であり、緊急通報装置をさらに活用することにより、急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切に対応する通報体制を整備し、重度身体障がい者（児）への情報通信支援用具（パソコン周辺機器・ソフト）、拡大読書器等の給付や視覚障がい者への新しいICT機器、ソフトの導入を含め検討します。

2-3

施策	子育て・健康応援サイト「元気はぐくみ みよし」の利活用促進
主管（関連）	子育て支援課、健康づくり課
背景	アンケート調査結果（問6-1）から、本市内からの必要としている、又は関心のある情報として「急病などに対応できる病院案内などの救急医療や病院の情報」「健康づくり、子育てなどの健康・保健情報」「普段の生活での様々な悩み事に関する相談や窓口に関する情報」といった意見と（問7-2）から、よく閲覧しているサイトとしては認知度が低い実状と（問8-1）から、より充実していくべき情報化の分野について「健康・医療サービスの充実」「子育てに関する情報提供や支援の充実」といった意見があります。
関連施策	2-1、2-2、3-9、4-3
内容	食育を含めた子育てに関する情報を一元管理している子育て・健康応援サイト「元気はぐくみ みよし」の利活用を促進します。育児支援等、子育て分野に関するメールマガジン配信やQ&Aを充実させ、利活用促進の方法を検討する他、保育所・認定こども園・幼稚園の施設情報や食育の推進・普及啓発の為に食育レシピを公開し、申込み手続きをオンラインで可能にする等、利用者環境に配慮した仕組みの構築が必要です。



2-4

施策	災害に強い自治体づくり
主管（関連）	危機管理課（全庁）
背景	アンケート調査結果（問3-4）から、現在、インターネットで利用しているサービスとして「ニュースの閲覧」「気象・防災情報の閲覧」といった意見が多くあり、（問6-1）から、本市内からの必要としている、又は関心のある情報として「災害や防災に関する情報（緊急情報、安否情報、救援物資情報など）」「地域の局所的な気象情報」「公共施設の位置や災害・事故発生場所などの地図情報」といった意見と（問7-3）から市のホームページでよく利用しているサービスとして「三好市地図情報ライブカメラ」同様に災害時には「三好市防災ライブカメラ」といった意見があります。
関連施策	1-1、1-3、1-4、1-5、2-1、4-1
内容	ICTを利活用し、防災対策・災害対応における“自助・共助・公助”の仕組みを取り入れた災害に強い自治体づくりを整備します。 迅速・確実な防災情報の伝達を図ることが課題であり、ICT化した防災マップを作成し避難場所や避難ルートに利活用し、連絡通信手段の多重化として防災行政無線や衛星携帯電話等、現在の状況を集約し迅速に情報発信が可能な手段を検討します。 非常災害時に地域住民や観光客がスマートフォン等による迅速な情報を入手できるようにするとともに、平時には観光情報発信や地域振興アプリケーション等の提供も行えるようにするため、避難所等に無料公衆無線LANサービスの提供を検討します。

2-5

施策	各種届出手続きの簡素化促進
主管（関連）	情報政策課（全庁）
背景	アンケート調査結果（問6-1）から、本市内からの必要としている、又は関心のある情報として「役場への届け出・手続きに関する情報」「ごみ処理の日程など生活環境に関する情報」といった意見と（問8-1）から、より充実していくべき情報化の分野について「インターネットによる申請届出（電子申請）やコンビニでの証明書交付の導入など」といった意見があります。
関連施策	4-1、4-3
内容	インターネットによる申請届出（電子申請）を利用して、各種届出手続きの簡素化を促進します。





【地域性を活かし魅力ある<sup>きら</sup>煌めくまち】  
 (農・林・商・工業、観光、学校教育、生涯学習・スポーツ、文化)

アンケート調査結果では、より充実していくべき情報化の分野について「経済の活性化(中小企業への情報化支援など)」といった意見から、情報関連企業、事業者等の進出拡大を推進し、将来の情報化に期待することでは「勤務先へ行かなくとも、日常業務を家にいながらにして処理できるようになる」といった意見から、在宅勤務(テレワークなど)等の柔軟な働き方の促進に期待があります。

ICT化が遅れていた1次産業の効率化を図り、生産から加工、販売までをワンストップで行う6次産業振興にも、生産性と収益性を向上させるといった活用方法が考えられます。

本市内からの必要としている、又は関心のある情報として「町内の出来事・催しもの情報」「各種イベントの開催や催しものの情報」「名所案内や宿泊案内などの観光に関する情報」といった意見と、より充実していくべき情報化の分野について「国際交流の推進(外国語版ホームページの充実や外国語対応など)」といった意見を踏まえて、本市の主要産業である観光の情報発信力の強化と訪日外国人観光客を意識した無料公衆無線LANスポットの設置拡大を推進します。

より充実していくべき情報化の分野について「IT教育の推進(小中高でのIT機器の導入、ネットリテラシー教育など)」といった意見と情報化を進めるにあたって、特に注意すべき点は「個人情報については、プライバシーが守られるよう、厳重に注意する」といった意見から、ICT機器利用者層の低年齢化に併せて、教育現場のICT化及び情報モラル教育を促進する必要があります。

高齢者世代の抱くインターネット利用時の不安として「情報端末の操作が難しい」といった意見と本市内からの必要としている、又は関心のある情報として「講習会、市民講座などの趣味や生涯学習に関する情報」「本の検索を含めた図書館情報」「市の統計・調査に関する情報」との意見から、書籍や郷土資料について、デジタルアーカイブを推進し利活用を促進します。



## 第4章 基本理念、基本目標と重要施策

### 3-1

施策	情報関連企業、事業者等の進出拡大
主管(関連)	商工政策課(地域振興課)
背景	アンケート調査結果(問8-1)から、より充実していくべき情報化の分野について「経済の活性化(中小企業への情報化支援など)」といった意見と(問8-2)から情報化を進めるにあたって、特に注意すべき点は「情報化推進組織を充実させる」といった意見があります。
関連施策	1-2、1-3、1-5、2-3、3-2、3-7、3-8
内容	整備されたブロードバンド網をPRし、情報関連企業、事業者等の進出拡大を推進します。 ふるさとテレワークの促進により、サテライトオフィスや企業誘致の際に、本市にある休廃校校舎の再利用や遊休施設を提案することで、児童・生徒が少なくなっていた地域に情報関連企業、事業者等との交流の場を創造し、若年層を中心に地域コミュニティの活性化を促進します。 ビジネスに係るスキルアップや情報化促進のための各種セミナー、ビジネスチャンス拡大のための交流会等を体系的に実施することにより、情報関連企業やSOHO事業者、新規創業者等の起業・育成支援を行うことが期待されます。

### 3-2

施策	柔軟な働き方の促進
主管(関連)	商工政策課(長寿・障害福祉課、子育て支援課、生涯学習・スポーツ振興課)
背景	アンケート調査結果(問3-4)から、現在インターネットで利用しているサービスとして、「在宅勤務(テレワークなど)」といった意見は少ないが、(問8-1)から、より充実していくべき情報化の分野について「経済の活性化(中小企業への情報化支援など)」と(問8-3)から、将来の情報化に期待することでは「勤務先へ行かなくとも、日常業務を家にいながらにして処理できるようになる」といった意見があります。
関連施策	1-2、2-3、3-1、3-3、3-7、3-8
内容	障がい者や子育て世代、シニア世代を中心に柔軟な働き方を促進します。 ICTの活用により在宅勤務(テレワークなど)が可能な業務については、自宅で安心して業務を行うことができるなど、在宅勤務の導入可能性を市内民間企業等に提案し、障がい者や子育て世代・シニア世代の生産労働力の確保と生涯教育の充実を図ります。

### 3-3

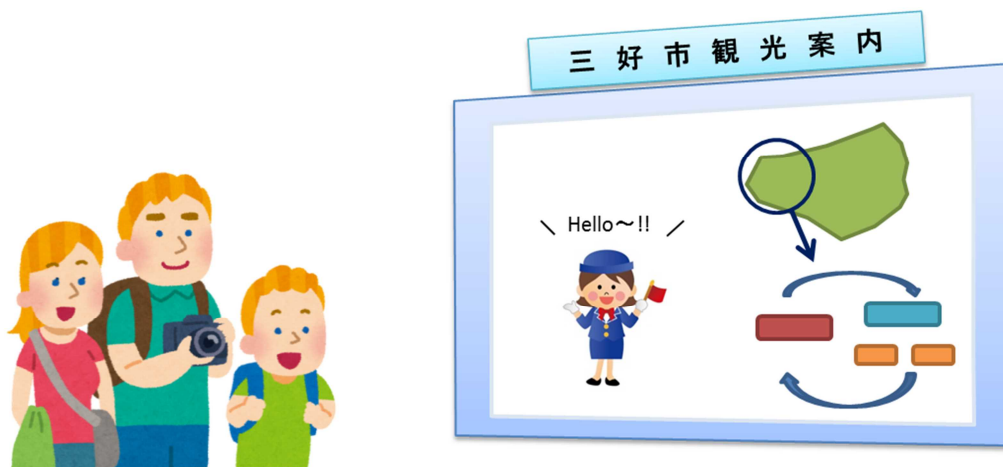
施策	6次産業振興
主管(関連)	農業振興課、林業振興課(生涯学習・スポーツ振興課)
背景	アンケート調査結果(問6-1)から、本市内からの必要としている、又は関心のある情報として「商業、工業(製造業)のいろいろな情報」「農業、林業、水産業のいろいろな情報」といった意見と(問8-3)から、将来の情報化に期待することは「農業技術・病害虫対策など農業情報の充実」といった意見があります。
関連施策	1-3、3-2、3-5、4-7
内容	生産から加工、販売までをワンストップで行う6次産業振興を推進します。 ICT化が遅れていた1次産業の効率化にも有効となります。例として、田畑に気象センサーを設置し、気象データと収穫量や品質などのデータとの関係を把握することにより、農業プロセスを最適化することで生産性と収益性を向上させるといった活用が考えられます。

3-4

施策	観光の情報発信力の強化
主管(関連)	観光課、商工政策課、地域振興課(情報政策課)
背景	アンケート調査結果(問6-1)から、本市内からの必要としている、又は関心のある情報として「町内の出来事・催しもの情報」「各種イベントの開催や催しものの情報」「名所案内や宿泊案内などの観光に関する情報」といった意見と(問7-2)から、よく閲覧しているサイトとして数字は少ないがホームページに次いで「三好市観光サイト」が利用されているといった意見と(問8-1)から、より充実していくべき情報化の分野について「観光の活性化(観光関連のホームページの充実など)」といった意見があります。
関連施策	3-5、4-1、4-2
内容	本市の主要産業である観光の情報発信力の強化により、地域活性化を図ります。 三好市観光協会、「三好やまびこふるさと会 三好市特産品「三好の逸品」」に関する情報提供の充実を図るとともに、様々な情報通信機器を活用した特産品情報等の発信を促進します。 ケーブルテレビ放送による情報発信とパソコンやスマートフォンを利用したホームページやSNSの情報発信力の強化を促進します。 本市を訪れてみたい、訪れて良かった、住んでみたい、住んで良かったと感じてもらえるような取り組みを図ります。

3-5

施策	インバウンド(訪日外国人)観光振興
主管(関連)	観光課(情報政策課)
背景	アンケート調査結果(問8-1)から、より充実していくべき情報化の分野について「国際交流の推進(外国語版ホームページの充実や外国語対応など)」といった意見があります。
関連施策	1-1、3-3、3-4、4-2
内容	インバウンド(訪日外国人)観光振興を推進します。 訪日外国人観光客がスマートフォンやタブレット端末で、無料で気軽に地域の観光情報等を入手できるように、無料公衆無線LANスポットの設置拡大を促進します。



3-6

施策	ICT教育環境の充実と利活用
主管（関連）	学校教育課
背景	アンケート調査結果（問3-11）から、利用するに当たり、インターネットの知識や技術を習得する為の方法として「学校教育において知識や技術を習得する」といった意見と（問8-1）から、より充実していくべき情報化の分野について「IT教育の推進（小中高でのIT機器の導入、ネットリテラシー教育など）」といった意見があります。
関連施策	1-1、3-7、3-8、3-9、3-10、4-2
内容	ICT教育環境の充実と利活用を促進します。 平成26年度までに小学校の全普通教室の整備が終了した電子黒板・デジタル教科書について、引き続き中学校でも計画的に整備を行い、ICTを利活用した、理解し易い授業を実現し、学力向上を図ります。 平成27年度より校務支援システムの利用を開始し、出席簿・通知表・指導要録・健康診断表等をデータ化することで校務の効率化を促進し、教職員の余力を生むことで、児童生徒に対してよりきめ細やかな指導や、教職員自身の研鑽の時間確保を行い、教育全体の質の向上を図ります。 なお、デジタル教科書や校務支援システム等を利活用するための指標として、教職員のICT利活用指導力があり、できる教職員の割合が100%になるように研修等のサポートを行う人材としてICT支援員を学校に派遣して支援を行います。

3-7

施策	情報モラル教育の推進
主管（関連）	学校教育課、商工政策課
背景	アンケート調査結果（問8-2）から、情報化を進めるにあたって、特に注意すべき点は「個人情報については、プライバシーが守られるよう、厳重に注意する」といった意見があります。
関連施策	1-1、2-2、3-1、3-2、3-6、3-8、3-9、4-2
内容	情報モラル教育を推進します。 パソコンやスマートフォンの普及に伴いその正しい使い方を理解する必要があり、児童・生徒へ情報リテラシーを身につけさせる必要があります。また、近年、インターネット上でのいじめ等の問題等が増加しており、情報モラル教育を児童・生徒へ実施し、保護者へも啓発のための説明会等を実施する必要があります。



## 3-8

施策	高齢者世代の利活用促進
主管（関連）	生涯学習・スポーツ振興課（商工政策課、長寿・障害福祉課）
背景	アンケート調査結果（問3-8）から、現在、インターネットを利用していない方で今後インターネットを「利用したい」といった意見が20%弱ではあったが、（問3-6）から、インターネット利用時の不安や不満として「情報端末の操作が難しい」といった意見と（問3-11）から、利用するに当たり、インターネットの知識や技術を習得する為の方法として「最寄りの公共施設において自治体主催のパソコン講習会を実施」「地域の集会場などを利用してボランティアによるパソコン講習会を実施」といった声が多くあり、（問8-1）から、より充実していきべき情報化の分野について「生涯学習の充実（高齢者向けのパソコン講座の充実など）」といった意見があります。
関連施策	1-1、2-2、3-1、3-2、3-6、3-7、3-9、4-2
内容	高齢者世代の利活用を促進し、生涯教育の充実を図ります。 高齢者世代向けにはケーブルテレビ放送だけでなく、タブレット端末の利活用方法を講習会等で学習することにより、行政サービスの情報発信の受け手の拡大と生活に必要な手続きの利用者増加を促進し、高齢者世代のICT機器の利用を促進します。

## 3-9

施策	生涯学習・スポーツの為の利活用促進
主管（関連）	生涯学習・スポーツ振興課
背景	アンケート調査結果（問6-1）から、本市内からの必要としている、又は関心のある情報として「講習会、市民講座などの趣味や生涯学習に関する情報」「本の検索を含めた図書館情報」「スポーツに関する情報」「市が運営する施設（体育館、公民館など）についての情報」といった意見と（問8-3）から、将来の情報化に期待することでは「様々な教育・学習プログラムにより、年齢に関係なく誰もが自宅で学習・教養を高めることができ、未就学児・幼稚園児の教育、学校教育の補修、通信教育の副教材として活用できる」といった意見があります。
関連施策	1-1、2-2、2-3、3-6、3-7、3-8、3-10
内容	生涯学習・スポーツの為の利活用を促進します。 図書館の書籍については、デジタルアーカイブを推進し、利用者環境に配慮した環境を整備し、三好市に著作権のある書籍の電子書籍サービスを検証することで、オープンデータ化へ取り組みます。 施設利用については、レジャー施設、体育施設、公民館、学校施設（運動場、体育館）等の一層の利活用を促進します。

## 3-10

施策	郷土資料の利活用促進
主管（関連）	文化財課、観光課、学校教育課、生涯学習・スポーツ振興課
背景	アンケート調査結果（問6-1）から、本市内からの必要としている、又は関心のある情報として「市の統計・調査に関する情報」との意見と（問8-1）から、より充実していきべき情報化の分野について「情報公開の推進」との意見があります。
関連施策	2-2、3-6、3-9、4-1
内容	郷土資料の利活用を促進します。 本市で所蔵する郷土資料について、デジタルアーカイブを推進し、ホームページ等での一般公開を検討する他、観光資料に役立て、郷土の歴史教育、生涯学習の一環としての利活用を促進します。

**【住民参画を基本とした協働のまち】**  
**(コミュニティ、協働、行財政改革、電子自治体の推進)**

アンケート調査では、市のホームページの感想として「情報がみつけにくい」「便利なサービスが少ない」「文章がわかりにくい」といった不満から、ホームページの充実を図ります。

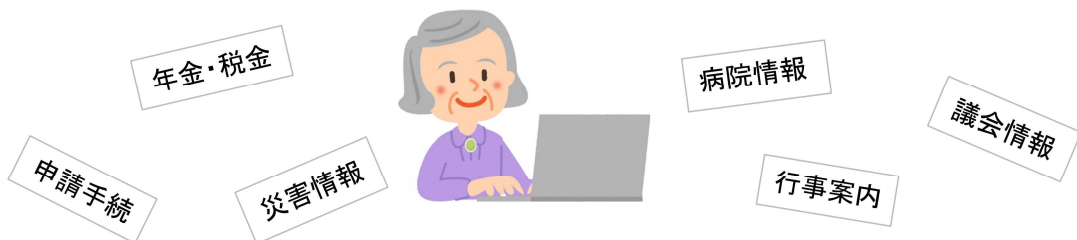
より充実していくべき情報化の分野について「地域コミュニティ活動支援（市民参画への活用）」といった意見から、ふるさと交流の促進が必要になります。

本市内からの必要としている、又は関心のある情報として「役場への届け出・手続きに関する情報」「住民票・年金・税金などの暮らしの情報」といった意見と、「社会保障・税番号（マイナンバー）制度」導入後の利活用について、総合窓口、ワンストップ受付体制を研究・検討します。

本市内からの必要としている、又は関心のある情報として「市議会や条例などの行政に関する情報」「役場への届け出・手続きに関する情報」「入札・工事に関する情報」といった意見と、より充実していくべき情報化の分野について「インターネットによる申請届出（電子申請）やコンビニでの証明書交付の導入など」といった意見と、将来の情報化に期待することでは「郵便局・コンビニ・最寄りの公共施設などから様々な行政サービスが利用できる」といった意見から電子自治体の推進を図ります。

4-1

施策	ホームページの充実
主管（関連）	秘書広報課（全庁）
背景	アンケート調査結果（問7-1）から、市のホームページの感想として「必要な情報が掲載されている」以外は「情報がみつけにくい」「便利なサービスが少ない」「文章がわかりにくい」といったネガティブな意見の方が多くあります。
関連施策	1-3、2-4、2-5、3-4、3-10
内容	複雑・多様化する市民ニーズやICTの進展等を考慮しながら、市民や企業等が必要な行政情報を、いつでも、どこでも、簡単に得られるようホームページの充実を図ります。 掲載内容の充実や機能の強化を行い、情報発信の充実を図ることで、本市関連機関へのランディングページとしてホームページを活用し、情報のワンストップ化を促進し、非常災害時の対応を迅速に行うと共に、新たな情報発信媒体として、様々なソーシャルメディアの活用について、研究・検討を進めます。



4-2

施策	ふるさと交流の促進
主管（関連）	地域振興課
背景	アンケート調査結果（問5-1）から、情報入手方法として「テレビ」「新聞・広告」のマスメディアは多いが、「人との会話（家族・近隣住民などからの口コミなど）」「地域の回覧板」もコミュニケーション方法の1つとして必ず必要であるといった意見と（問6-1）から、本市内からの必要としている、又は関心のある情報として「町内の出来事・催しもの情報」「各種イベントの開催や催しものの情報」といった意見と（問8-1）から、より充実していくべき情報化の分野について「地域コミュニティ活動支援（市民参画への活用）」といった意見があります。
関連施策	1-4、3-4、3-5、3-6、3-7、3-8
内容	本市の魅力を広く情報発信し、移住者と定住者のふるさと交流を促進します。 地域おこし協力隊、集落支援員の行動記録を「三好市定住交流支援サイト ほんなら三好市」に掲載することで、U・I・Jターン希望者への情報発信強化を行います。 高齢化、固定化が進む自治会等に対し、情報の提供と共有による課題の解決や人材育成の支援等を図るため、モデル地区での自治会等向けポータルサイトの研究・検討をします。

4-3

施策	総合窓口、ワンストップ受付体制の研究・検討
主管（関連）	全庁
背景	アンケート調査結果（問6-1）から、本市内からの必要としている、又は関心のある情報として「役場への届け出・手続きに関する情報」「住民票・年金・税金などの暮らしの情報」といった意見と（問7-3）から市のホームページでよく利用しているサービスとして「申請書ダウンロード」といった意見があります。
関連施策	2-2、2-3、2-5
内容	総合窓口、ワンストップ受付体制の研究・検討をします。 転入やライフイベントなど、複数の手続きが必要なケースを分析し、複数手続きを同一窓口で受け付けられるように取り組み、住民サービスの向上を図ります。 併せて市民の問い合わせ等に対し、ワンストップで対応する受付体制及びシステム等の整備に向けて研究・検討をします。

4-4

施策	「社会保障・税番号（マイナンバー）制度」の利活用
主管（関連）	全庁
背景	アンケート調査結果（問8-2）から、情報化を進めるにあたって、特に注意すべき点は「個人情報については、プライバシーが守られるよう、厳重に注意する」「適切で信頼性の高い情報提供を行う」といった意見があります。
関連施策	
内容	H27年10月よりマイナンバーが通知される「社会保障・税番号（マイナンバー）制度」の利活用を促進します。 マイナンバー制度の効率性・透明性を高め、利便性の高い、公平・公正な社会を実現するため、各種システムの影響範囲の調査、改修方針の検討を行い、国や他の市町村の動向に注視しながら、適切な対応を検討し、マイナンバーカードによるサービスの利便性向上を図ります。

4-5

施策	電子入札システムの利活用促進
主管（関連）	管財課
背景	アンケート調査結果（問6-1）から、本市内からの必要な情報として「市議会や条例などの行政に関する情報」「役場への届け出・手続きに関する情報」「入札・工事に関する情報」といった意見と（問8-2）から、情報化を進めるにあたって、特に注意すべき点は「適切で信頼性の高い情報提供を行う」といった意見があります。
関連施策	1-2
内容	電子入札システムの利活用を促進します。 公共事業等に導入している電子入札システムを物品調達について導入することで、手続きの透明性の確保（情報公開）、品質・競争性の向上（談合機会の減少）、コスト縮減（業者の移動コスト等）、利用者環境の向上を図ります。また、閲覧についても、コスト縮減のために、電子閲覧システムを研究・検討します。

4-6

施策	eL T A X（エルタックス）の利活用促進
主管（関連）	税務課
背景	アンケート調査結果（問3-4）から、現在、インターネットで利用しているサービスとして「電子政府・電子自治体の利用（電子申請・電子申告・電子届出）」といった意見は少数でした。
関連施策	1-2
内容	地方税の総合窓口であるeL T A X（エルタックス）の利活用を促進します。 電子申告、電子納税、電子申請・届出を行うことができる利用者環境の向上を図ります。

4-7

施策	コンビニ交付サービスの充実拡大
主管（関連）	税務課
背景	アンケート調査結果（問8-1）から、より充実していくべき情報化の分野について「インターネットによる申請届出（電子申請）やコンビニでの証明書交付の導入など」といった意見と（問8-3）から、将来の情報化に期待することでは「郵便局・コンビニ・最寄りの公共施設などから様々な行政サービスが利用できる」といった意見があります。
関連施策	3-3
内容	コンビニ交付サービスの充実拡大を研究・検討します。 市民の利便性向上や窓口の混雑緩和を図るため、市役所の開庁時間以外においても、全国どここのコンビニエンスストアで住民票の写し、印鑑証明だけでなくその他証明書などの交付によって、コンビニ交付サービスの充実拡大を研究・検討します。





## 第5章 計画の推進について

## 第5章 計画の推進について

### 5-1 推進体制

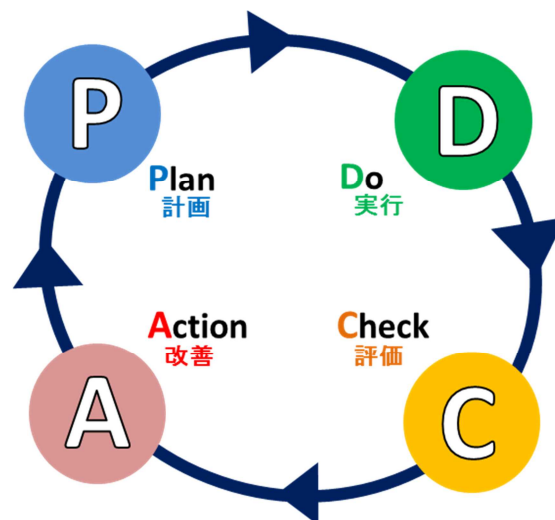
地域情報化や行政情報化を推進するためには、全体最適化の見地から、各情報化施策を全庁的な視点で捉える庁内横断的な体制や取り組みが必要になります。

本市では、副市長を本部長、部長級等を委員とする「三好市情報化推進本部」及びその下部組織であり、課室長級を委員とする「三好市情報化推進本部幹事会」により、全庁的な体制で計画の進捗管理を行います。

また、特に専門的・重点的に調査・研究等が必要な事項については、関係各課職員等を委員とするワーキンググループを設置し、課題解決に向け、組織的に取り組みます。

### 5-2 推進における留意事項

本計画で取り組むべきとした具体的な事業の推進にあたっては、各事業における効果やもたらされる便益等を評価し、さらに効果や便益が高まるよう継続的に見直しを図ることが必要になります。そこで、定期的な評価や見直しを行うため、情報化のPDCAサイクル（Plan：計画、Do：実行、Check：評価、Action：改善）を確立し、具体的な事業の進捗管理を含め、事務・情報システムの最適化を含めて行います。併せて計画内容を見直し、ICTの技術的動向や国・県等の政策動向にも的確に対応していくこととします。



## 第6章 用語集

## 第6章 用語集

### あ行

#### ・アーカイブ

ICT関連分野では、すぐに使わないが失いたくないデータを長期的に保管するため、専用の保存領域や記録装置に移動させること。

#### ・アプリケーション

コンピューター内で、ある特定の目的を実現するために設計されたソフトウェアのこと。

#### ・イントラネットワーク

インターネット標準の技術を用いて構築された企業（組織）内ネットワークのこと。

#### ・オープンデータ

何らかの権利に基づく制限を課されることなく、誰でも自由に入手、加工、利活用、再配布などすることができるよう公開されたデータのこと。

以下の2点を満たすことが求められる。

- (1) 機械判読に適したデータ形式
- (2) 二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータ

#### ・オンライン

インターネットなどのネットワークに接続され、遠隔からサービスや情報などを利用できる状態のこと。

### か行

#### ・公衆無線LAN（コウシュウムセンラン）

店舗や公共の空間などで提供される、無線LANによるインターネット接続サービスのこと。

無線LANは、ケーブル線の代わりに無線通信を利用してデータの送受信を行うシステムのこと。

## さ行

### ・ サテライトオフィス

企業または団体の本拠地から離れた場所に設置されたオフィスのこと。  
本拠地を中心としてみた時に衛星（サテライト）のように存在するオフィスとの意から命名された。

### ・ 情報モラル教育

情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を育成するための教育指導。  
具体的には、以下が含まれます。

- ① 報収集時における適正な手続き、著作権等の尊重、情報の信頼性の確認
- ② 報発信時におけるプライバシーの保護、発信内容の正確性・信頼性に対する責任
- ③ コミュニケーション時におけるマナー尊重やTPOに応じたやりとり等

### ・ スマートフォン

従来の携帯電話の通信機能等に加え、高度な情報処理機能が備わった携帯電話のこと。  
従来の携帯電話とは異なり、利用者が使いたいアプリケーションを自由にインストールして利用することが一般的であり、また、スマートフォンはインターネットの利用を前提としており、無線LANに接続して利用することも可能である。

### ・ ソーシャルメディア

Web上で提供されるメディアのうち、ユーザーが積極的に参加し、情報発信することによって形成されていくメディアのこと。  
古くは電子掲示板（BBS）やブログから、最近ではSNSがこれにあたる。

## た行

### ・ タブレット端末

タッチパネル式などの表示／入力部を持った携帯端末のこと。

### ・ ダウンロード

通信回線やネットワークを通じて、別のコンピューターなどからデータを受信すること。

### ・電子タグ

物体の識別に利用される微小な無線 I C チップのこと。

自身の識別コードなどの情報が記録されており、電波を使って管理システムと情報を送受信する能力をもつ。I C タグは産業界においてバーコードに代わる商品識別・管理技術として研究が進められてきたが、それに留まらず社会の I C T 化・自動化を推進する上での基盤技術として注目が高まっている。

## は行

### ・ビッグデータ

従来のデータベース管理システムなどでは記録や保管、管理が難しいような巨大なデータ群のこと。

今までは管理しきれないため見過ごされてきたそのようなデータ群を記録・保管して即座に解析することで、ビジネスや社会に有用な知見を得たり、これまでにないような新たな仕組みやシステムを産み出す可能性が高まるとされている。

### ・ブロードバンド

光回線をはじめとする高速・大容量な通信回線のこと。

### ・ポータルサイト

インターネット利用の入り口となる巨大 W e b サイトのこと。

## や行

### ・ユビキタス

あらゆるものにコンピューターが内蔵され、いつでも、どこでも、コンピューターの支援が得られるような世界や概念を指す言葉。

例として、インターネットなどの情報ネットワークに、いつでも、どこからでもアクセスできる環境を整えば、場所にとらわれない働き方や娯楽が実現されるようになる。

## ら行

## ・ランディングページ

Webサイトの訪問者が、外部からそのサイトにやってくる際、最初に開くことになるページのこと。

## ・リテラシー

何かの分野や物事に習熟してそれ使いこなすことができる能力のこと。

対象となる物事を先頭に加えて「情報リテラシー」「ネットリテラシー」と表現される。

## わ行

## ・ワンストップ

複数の手続きなどを1ヶ所で同時に行うことができること。

## アルファベット

## ・C I O (シーアイオー)

Chief Information Officer (チーフ・インフォメーション・オフィサー) の略。

最高情報責任者のことで、企業(組織)の情報戦略のトップのこと。

## ・e L T A X (エルタックス)

自宅や会社からインターネット経由などで電子的に地方税の納付手続を行う一連のオンラインシステムのこと。

## ・F T T H (エフティーティーエイチ)

Fiber To The Home (ファイバー・トゥー・ザ・ホーム) の略。

光ファイバーによる家庭向けのデータ通信サービスのこと。

### ・ I Cカード

キャッシュカード大のプラスチック製カードに極めて薄い半導体集積回路（I Cチップ）を埋め込み、情報を記録できるようにしたカードのこと。

I Cカードは磁気カードに比べて100倍近いデータを記録でき、データの暗号化も可能なため偽造にも強い特徴を持つ。

### ・ I C T（アイシーティー）

Information and Communication Technology

（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）の略。

情報通信技術のこと。

### ・ I C T－B C P（アイシーティービーシーピー）

B C Pは、Business Continuity Plan（ビジネス・コンティニューイティ・プラン）の略で、業務継続計画のこと。

情報通信に係る何らかの障害が発生した場合において重要な業務が中断しないこと又は業務が中断した場合でも目標とした復旧時間内に事業が再開できるようにするための対応策などを定めた包括的な行動計画のこと。

### ・ I P電話（アイピーでんわ）

インターネットで利用される Internet Protocol（インターネットプロトコル）を利用して提供される電話サービスのこと。

### ・ S N S（エスエヌエス）

Social Networking Service（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の略。

インターネット上で友人を紹介しあって、個人間の交流を支援するサービス。会員は自身のプロフィール、日記等を公開できるほか、S N S上での知人・友人等の日記、投稿等を閲覧したり、コメントしたり、メッセージを送ったりすることができる。

### ・ S O H O（ソーホー）

Small Office Home Office（スモール・オフィス・ホーム・オフィス）の略。

I C T（情報通信技術）を利活用して事業活動を行っている小規模事業者のこと。



〔資料編〕

## 三好市地域情報化計画審議会条例

平成26年9月30日

条例第21号

(設置)

第1条 情報通信技術の利活用による地域活性化を図るための施策の基本指針となる三好市地域情報化計画(以下「計画」という。)を策定するため、三好市地域情報化計画審議会(以下「審議会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じて、次に掲げる事項について調査、審議し、市長に答申するものとする。

- (1) 計画の策定に関すること。
- (2) その他計画の策定について必要と認める事項

(組織)

第3条 審議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 民間各種団体の代表者又は民間各種団体から推薦を受けた者
- (3) 公募市民
- (4) 前各号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、第2条に定める所掌事務が終了するまでとする。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に、会長及び副会長各1人を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
- 3 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、会議の議長となる。ただし、最初の会議は、市長が招集する。

- 2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明は又は意見を求めることができる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は企画財政部情報政策課において処理する。

(雑則)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営について必要な事項は会長が審議会に諮って定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

## 三好市地域情報化計画審議会委員

氏名	役名	組織（委員区分）
さかもと せつお 坂本 世津夫	会長	総務省地域情報化アドバイザー／愛媛大学
よしおか ひでのり 吉岡 秀典	副会長	池田ケーブルネットワーク
おおにし つねお 大西 常夫	委員	阿波みよし農業協同組合
かやの てつお 萱野 鉄雄	委員	三好市商工会
おかだ とおる 岡田 徹	委員	阿波池田商工会議所
おかだ かずお 岡田 和雄	委員	三好市観光協会
ふくた ひろこ 福田 博子	委員	三好市婦人団体連合会
ほど きよこ 保土 喜代子	委員	三好市社会福祉協議会
すがい ひろあき 菅井 弘昭	委員	民生児童委員連絡協議会
なかつ てついち 中津 哲一	委員	池南・新山地区自主防災会
たに さとし 谷 敏司	委員	三好市教育委員会



アンケート調査結果

---

三好市地域情報化計画策定のための  
アンケート調査結果報告書

《目 次》

1. 調査の概要	1
2. アンケート調査結果と分析	2
(1) アンケート調査結果の概要	2
(2) 回答者について	6
ア) 性別	6
イ) 年齢	6
ウ) 職業	7
エ) 地域	8
オ) 地域別の年齢構成	9
(3) 情報化について	10
ア) IT用語の認知度	10
(4) インターネットの利用状況について	12
ア) 公私におけるインターネット利用の有無	12
イ) インターネットを利用している機器	15
ウ) インターネットに接続している方法	16
エ) インターネットで利用しているサービス	17
オ) インターネットの利用頻度	19
カ) インターネット利用における不安や不満（インターネット利用者）	20
キ) インターネットを利用していない理由	21
ク) インターネット利用の意向（インターネット未利用者）	22
ケ) インターネットで利用したいサービス（インターネット未利用者）	23
コ) インターネット利用における不安や不満（インターネット未利用者）	25
サ) インターネットの知識や技術を習得するための方法	26
(5) 三好市内の通信基盤の状況について	27
ア) 三好市内全域における高速（光）インターネット化の認知度	27
(6) 日常の情報入手方法について	29
ア) 情報入手方法	29
イ) 情報を入手するために持っている機器	30
ウ) 今後の情報入手方法	31
(7) 必要な情報の種類について	32
ア) 三好市内からの情報で必要としているもの	32
(8) 三好市のホームページについて	34
ア) 三好市のホームページについての感想	34
イ) 三好市のホームページなどでよく閲覧しているサイト	35
ウ) 三好市のホームページなどでよく利用しているサービス	36
(9) 三好市の情報化への期待と不安について	37
ア) 三好市のまちづくりを進める上で、充実していくべき情報化分野	37
イ) 三好市が情報化を進めるにあたって、特に注意すべき点	39
ウ) 将来の情報化に期待すること	40
(10) 自由意見	42
3. 過去の地域情報化に関する住民アンケートとの比較	50
4. 資料 アンケート調査票	56

## 1. 調査の概要

「三好市地域情報化計画」の策定にあたり、市民が日常どのような情報やサービスを利用し、必要としているか、どのような意見や要望を持っているかを明らかにし、策定における基礎資料とするため、アンケート調査を下記の要領で実施した。

### ■ 調査対象者

15歳以上の三好市民から無作為に2,000人を抽出した。  
抽出人数の地区別の内訳については表1のとおりである。

表1 アンケート対象者の内訳（人数）

		15～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
三野地区	男性	19	14	16	24	28	52	153
	女性	22	16	18	27	32	60	175
	計	41	30	34	51	60	112	328
池田地区	男性	54	39	45	66	79	148	431
	女性	62	45	51	76	90	170	494
	計	116	84	96	142	170	317	925
山城地区	男性	16	12	14	20	24	44	130
	女性	19	14	16	23	27	51	150
	計	35	26	30	43	51	95	280
井川地区	男性	16	12	13	20	24	44	129
	女性	19	13	15	23	27	51	148
	計	35	25	28	43	51	95	277
東祖谷地区	男性	6	4	5	8	9	17	49
	女性	7	5	6	9	10	19	56
	計	13	9	11	17	19	36	105
西祖谷地区	男性	5	4	4	6	7	14	40
	女性	6	4	5	7	8	15	45
	計	11	8	9	13	15	29	85
合計	男性	116	85	97	144	171	319	932
	女性	135	97	111	165	194	366	1,068
	計	251	182	208	309	365	685	2,000

地区	人数
三野地区	328
池田地区	925
山城地区	280
井川地区	277
東祖谷地区	105
西祖谷地区	85
合計	2,000

### ■ 調査方法

調査対象者に郵送で調査票を配付し、郵送により回収した。  
アンケートは、郵送時の宛名に記載された本人が回答することとした。

### ■ 調査期間

調査票発送 平成26年12月10日（水）  
調査票返送投函期限 平成26年12月22日（月）

## 2. アンケート調査結果と分析

### (1) アンケート調査結果の概要

配付数	回答数	回答率
2,000	682	34.1%

※ 下記からの各問概要については、回答数や回答率の高い順に、上位4つの回答を記載している。

#### ■ IT用語に対する理解度⇒問2-1

	言葉は知っているし、 内容もよく知っている	言葉は知っているが、 内容はわからない	知らない
情報化	46.9%	42.1%	11.0%
ITまたはICT	31.1%	50.7%	18.3%
インターネット	62.8%	27.9%	9.3%
ホームページ	60.1%	27.4%	12.5%
電子メール	53.5%	31.4%	15.2%
電子申請	32.6%	35.9%	31.5%
スマートフォン	54.3%	31.6%	14.1%
Youtube	46.6%	23.5%	29.9%
ツイッター	42.8%	35.9%	21.2%
SNS	32.0%	29.2%	38.8%

#### ■ 公私におけるインターネット利用の有無⇒問3-1

プライベートでの 利用のみ	仕事(学業)での 利用のみ	プライベート・仕事 (学業)の両方で利用	利用していない
25.2%	2.2%	21.0%	50.3%

#### ■ インターネットを利用している機器(複数回答可)⇒問3-2

パソコン(自宅以外の ものも含むが、タブレッ ト型端末は除く)	スマートフォン型の携 帯電話(iphoneなど)	携帯電話(スマートフォ ンは除く)	タブレット型端末(iPad など)
269	158	69	56

#### ■ インターネットに接続している方法(複数回答可)⇒問3-3

携帯電話やスマート フォンでの接続	ケーブルテレビ回線 (池田ケーブルテレビ ネットワーク)	光回線 (フレッツ光など)	電話回線 (ダイヤルアップ)
157	151	63	35



■ インターネットで利用しているサービス（複数回答可）⇒問3-4

ニュースの閲覧	気象・防災情報の閲覧	電子メールの送受信 (メールマガジンは 除く)	動画投稿サイト (Youtubeなど)の 閲覧・投稿
209	206	179	161

■ インターネットの利用頻度⇒問3-5

毎日少なくとも1回	週に少なくとも1回 (毎日ではない)	月に少なくとも1回 (毎週ではない)	それ以下 (年1回以上)
72.4%	18.8%	6.1%	0.9%

■ インターネット利用における不安や不満（インターネット利用者）（複数回答可）  
⇒問3-6

ウイルスの感染が怖い	個人情報の流出の危 険性がある	通信料金が高い	回線速度が遅い
151	130	96	89

■ インターネットを利用していない理由（複数回答可）⇒問3-7

利用する必要がない	利用方法がわからない	興味がない	費用がかかる
159	87	85	78

■ インターネットの利用意向（インターネット未利用者）⇒問3-8

利用したい	今後も利用しない	無回答
19.5%	71.7%	8.7%

■ インターネットで利用したいサービス（インターネット未利用者）（複数回答可）  
⇒問3-9

気象・防災情報の閲覧	ニュースの閲覧	地図情報提供 サービス	商品・サービスの 購入・取引
40	32	20	10

■ インターネット利用における不安や不満（インターネット未利用者）（複数回答可）  
⇒問3-10

特に不満はない	個人情報流出の 危険性がある	情報端末の操作が 難しい	通信料金が低い
112	74	58	54

■ インターネットの知識や技術を習得するための方法（複数回答可）

⇒問3-1-1

最寄りの公共施設において自治体主催のパソコン講習会を実施	地域の集会場などを利用してボランティアによるパソコン講習会を実施	学校教育において知識や技術を習得する	自主学习
246	223	206	137

■ 三好市内における高速（光）インターネット化の認知度⇒問4-1

知っている	知らない	無回答
63.6%	33.9%	2.5%

■ 情報の入手方法（複数回答可）⇒問5-1

テレビ	新聞・広告	市報みよし	人との会話
614	517	376	354

■ 情報を入力するために持っている機器（複数回答可）⇒問5-2

携帯電話（スマートフォンは除く）	パソコン（タブレット型端末は除く）	スマートフォン型の携帯電話	タブレット型端末
292	266	187	75

■ 利用できれば便利な情報入手方法（複数回答可）⇒問5-3

CATV（ケーブルテレビ）によって情報が得られるようになる	テレビやラジオ放送によって情報が得られるようになる	インターネット（メールマガジンなど）を利用して情報が得られるようになる	電話やFAXサービスによって情報が得られるようになる
385	290	141	99

■ 三好市内からの情報で必要としているもの（複数回答可）⇒問6-1

災害や防災に関する情報	急病などに対応できる病院案内などの救急医療や病院の情報	役場への届け出・手続きに関する情報	ごみ処理の日程など生活環境に関する情報
433	355	302	284

■ 三好市のホームページについての感想（複数回答可）⇒問7-1

利用していない・わからない	情報がみつけにくい	便利なサービスが少ない	必要な情報が掲載されている
414	79	42	39

■ 三好市のホームページなどでよく閲覧しているサイト（複数回答可）

⇒問 7-2

どのホームページも知らない	三好市ホームページ	三好市観光サイト	その他
257	120	52	40

■ 三好市のホームページなどでよく利用しているサービス（複数回答可）

⇒問 7-3

どのサービスも知らない	三好市地図情報 ライブカメラ	その他	イベントカレンダー
268	66	49	36

■ 三好市のまちづくりを進める上で、充実していくべき情報化分野（複数回答可）

⇒問 8-1

健康・医療サービスの充実	高齢者や障がい者福祉の充実	危機管理・防災の充実	地域コミュニティ活動支援
270	244	234	142

■ 三好市が情報化を進めるにあたって、特に注意すべき点（複数回答可）

⇒問 8-2

個人情報については、プライバシーが守られるよう厳重に注意する	機器の操作はできるだけ簡単なものにする	適切で信頼性の高い情報提供を行う	機器の使い方についての講習などが受けられる場所や機会を確保する
434	282	234	169

■ 将来の情報化に期待すること（複数回答可） ⇒問 8-3

家にいながら健康状態を伝え、医師の診断・指示を受けたり、急患の場合の救急病院の案内・応急処置の仕方などの情報が得られる	ニュース、天気予報、健康、子育て、趣味などの情報、公共団体のお知らせ、地域情報などいろいろな分野の情報がほしいときにすぐ入手できる	郵便局・コンビニ・最寄りの公共施設などから様々な行政サービスが利用できる	外出先から電話などを通じて電気やガスなどのスイッチを入れたり・切ったり、戸締り確認ができたり、さらに火災や盗難などを自動的に消防署や警察に通報できるなど防犯・防災機能の充実
360	255	228	212

(2) 回答者について

ア) 性別

回答者の性別の比率は「男性」が46.3%、「女性」が52.3%で、やや女性の比率が高い結果となった。

表2 性別構成(人数)

	回答数(人)
男性	316
女性	357
無回答	9
合計	682

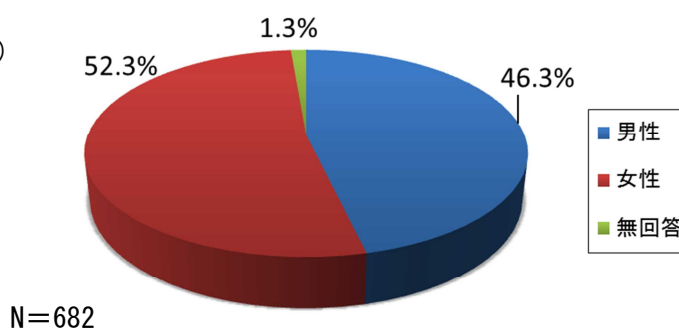


図1 性別構成(割合)

イ) 年齢

回答者の年齢で、最も割合が高いのは「70歳以上」(33.7%)であり、次に多い「60~69歳」(23.6%)と合わせて、約6割近くを占めている。

表3 年齢構成(人数)

	回答数(人)
19歳以下	21
20~29歳	36
30~39歳	47
40~49歳	61
50~59歳	114
60~69歳	161
70歳以上	230
年齢不明	12
合計	682

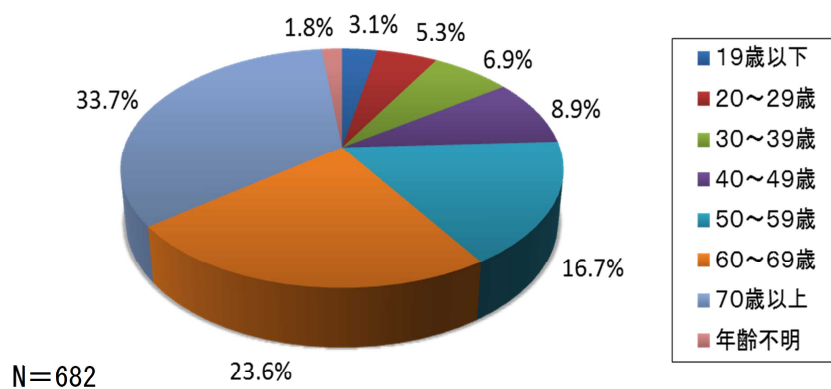


図2 年齢構成(割合)

ウ) 職業

高齢者の比率が高いこともあり、「無職」(38.1%)の割合が最も高く、次いで「会社員・公務員」(20.4%)、「家事従事者」(10.0%)となっている。

表4 職業構成(人数)

	回答数(人)
会社員・公務員	139
自営業	63
団体職員	14
農林水産業	16
学生	28
家事従事者(専業主婦・主夫)	68
パート、アルバイト	56
無職	260
その他	27
無回答	11
合計	682

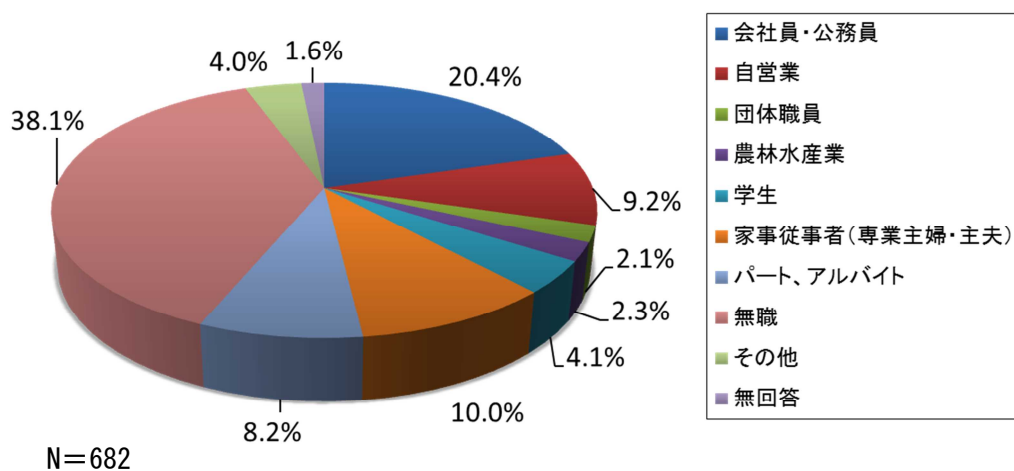


図3 職業構成(割合)

エ) 地域

地域別の配付数に対する回答率については、「西祖谷地区(36.5%)」が最も高いが、どの地区においても3割前後の回答率であり、大きな差は見られなかった。

表5 地域構成(人数)

	配付数(人)	回答数(人)	回答率
三野地区	328	108	32.9%
池田地区	924	319	34.5%
山城地区	280	91	32.5%
井川地区	277	97	35.0%
東祖谷地区	105	30	28.6%
西祖谷地区	85	31	36.5%
地区不明		6	

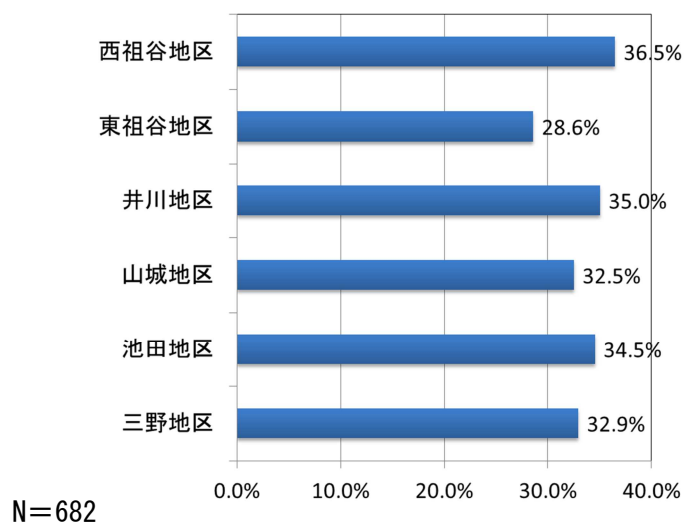


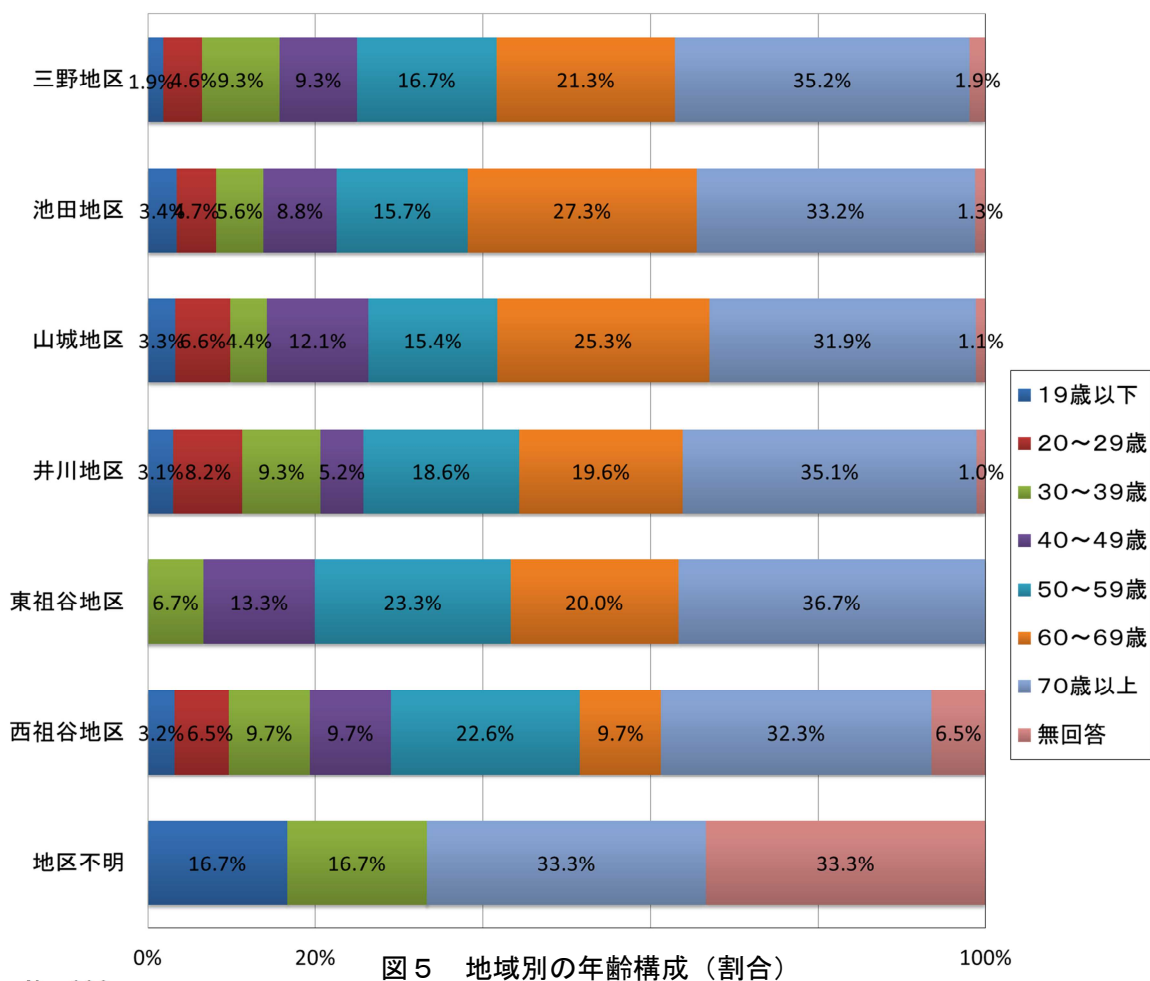
図4 地域構成(割合)

オ) 地域別の年齢構成

地域別の年齢構成では、全地区において「70歳以上」の割合が3割を超えており、「60～69歳」の割合を含めると、西祖谷地区以外において全体の半数以上を占めている。

表6 地域別の年齢構成（人数）

地域	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
三野地区	2	5	10	10	18	23	38	2	108
池田地区	11	15	18	28	50	87	106	4	319
山城地区	3	6	4	11	14	23	29	1	91
井川地区	3	8	9	5	18	19	34	1	97
東祖谷地区	0	0	2	4	7	6	11	0	30
西祖谷地区	1	2	3	3	7	3	10	2	31
地区不明	1	0	1	0	0	0	2	2	6
合計	21	36	47	61	114	161	230	12	682



(3) 情報化について

ア) IT用語の認知度

問2-1.

あなたは、次の言葉についてどの程度知っていますか。知っている割合を「1～3」で選択して、お答えください。

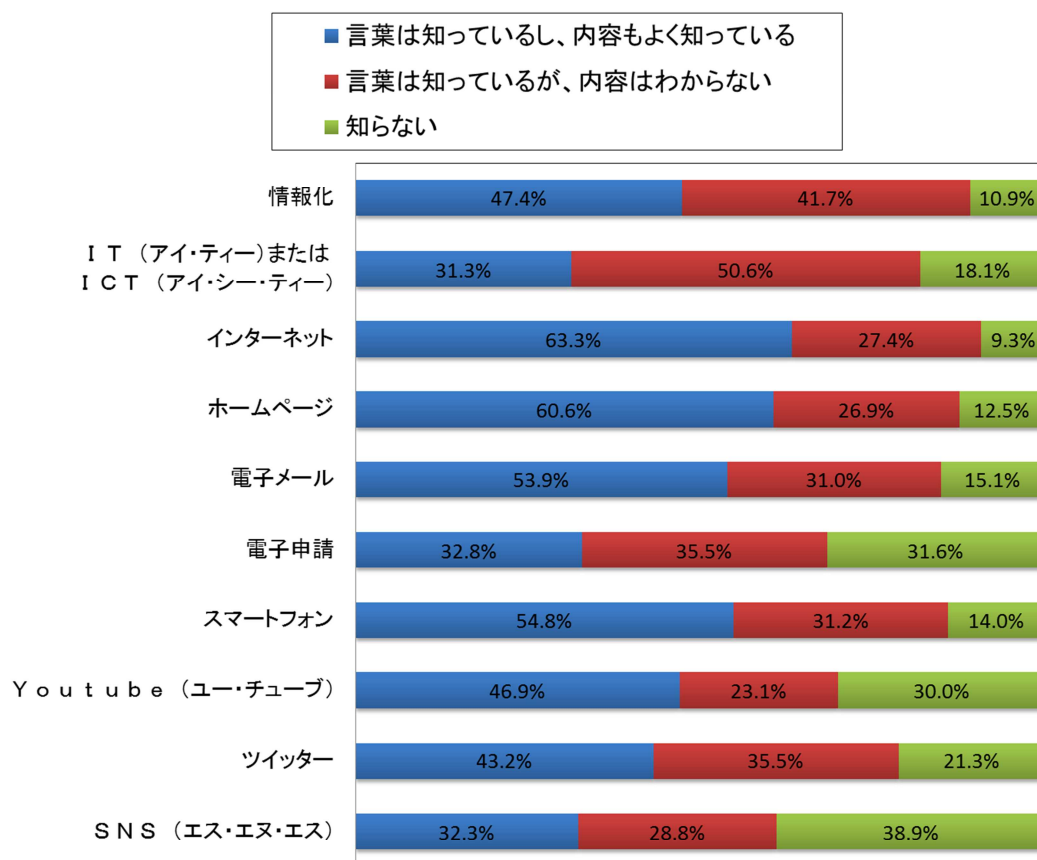
1. 言葉は知っているし、内容もよく知っている
2. 言葉は知っているが、内容はわからない
3. 知らない

各言葉の中で、最も「言葉は知っているし、内容もよく知っている」が多く、認知度が高かったのは『インターネット』（62.8%）であった。「言葉は知っているが、内容はわからない」で割合が高かったのは『ITまたはICT』（50.7%）であり、最も「知らない」との回答が多く、認知度が低かったのは『SNS』（38.8%）であった。



表7 IT用語の認知度（人数）

	言葉は知っているし、内容もよく知っている	言葉は知っているが、内容はわからない	知らない
情報化	252	222	58
IT(アイ・ティー)またはICT(アイ・シー・ティー)	182	294	105
インターネット	376	163	55
ホームページ	360	160	74
電子メール	317	182	89
電子申請	194	210	187
スマートフォン	320	182	82
Youtube(ユー・チューブ)	277	136	177
ツイッター	254	209	125
SNS(エス・エヌ・エス)	191	170	230



N=614

図6 IT用語の認知度（割合）

(4) インターネットの利用状況について

ア) 公私におけるインターネット利用の有無

問3-1.

あなたはインターネットを利用されていますか。

「利用していない」(50.3%)が最も割合が高く、「プライベートでの利用のみ」(25.2%)、「プライベート・仕事(学業)の両方で利用」(21.0%)と続き、全体としてはインターネット未利用者の割合が僅かに上回る結果となっている。

また地域別にインターネット利用状況を見ると、利用率は「井川地区」(27.8%)が最も高く、続いて「山城地区」(27.5%)、「池田地区」(26.6%)となった。

最も利用率が低かったのは「西祖谷地区」(9.7%)であった。

表8 公私における  
インターネット利用の有無(人数)

	回答数 (人)
プライベートでの利用のみ	172
仕事(学業)での利用のみ	15
プライベート・仕事(学業)の両方で利用	143
利用していない	343
無回答	9
合計	682

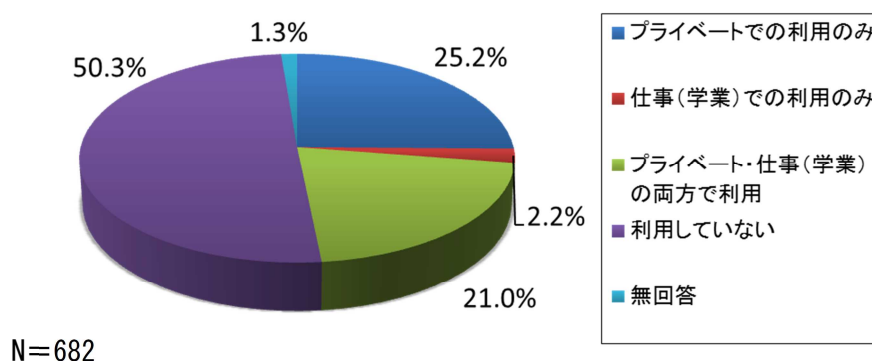
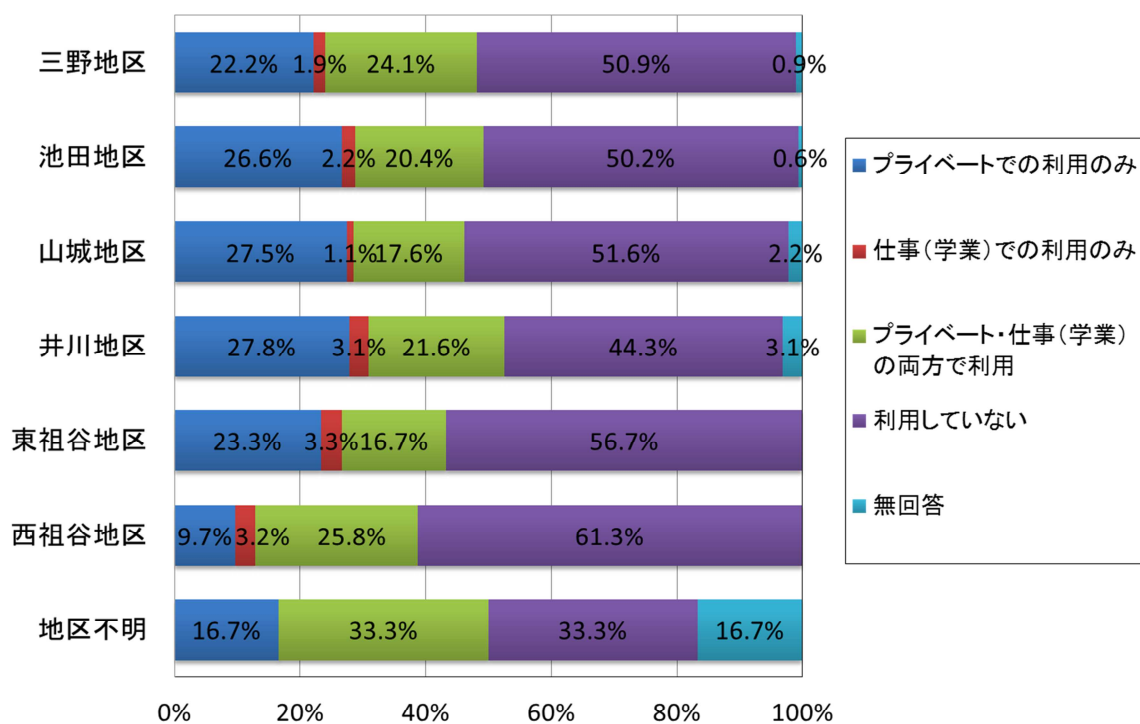


図7 公私における  
インターネット利用の有無(割合)

表9 地域別のインターネット利用の有無（人数）

	プライベートでの利用のみ	仕事(学業)での利用のみ	プライベート・仕事(学業)の両方で利用	利用していない	無回答
三野地区	24	2	26	55	1
池田地区	85	7	65	160	2
山城地区	25	1	16	47	2
井川地区	27	3	21	43	3
東祖谷地区	7	1	5	17	0
西祖谷地区	3	1	8	19	0
地区不明	1	0	2	2	1
合計	172	15	143	343	9



N=682

図8 地域別のインターネット利用の有無（割合）

表 10 年齢別のインターネット利用の有無（人数）

	プライベートでの利用のみ	仕事(学業)での利用のみ	プライベート・仕事(学業)の両方で利用	利用していない	無回答
19歳以下	13	1	7	0	0
20～29歳	19	0	16	1	0
30～39歳	14	2	26	5	0
40～49歳	22	1	28	10	0
50～59歳	35	5	38	36	0
60～69歳	50	5	25	81	0
70歳以上	19	1	2	200	8
年齢不明	0	0	1	10	1
合計	172	15	143	343	9

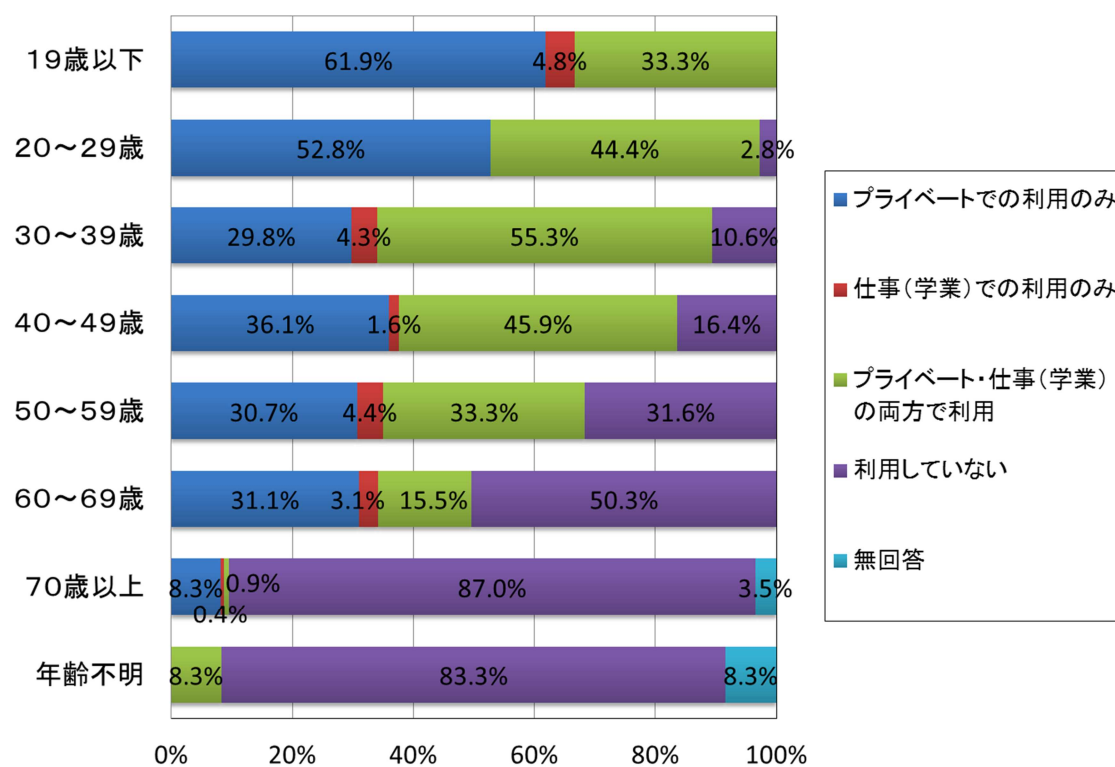


図 9 年齢別のインターネット利用の有無（割合）

イ) インターネットを利用している機器

問3-2.

問3-1で、「1～3」の中から回答された方にお尋ねします。  
 現在、どのような機器でインターネットを利用していますか。  
 (複数回答可)

インターネットの利用機器については、「パソコン」(269票)での利用が最も多く、「スマートフォン型の携帯電話」(158票)、「携帯電話(スマートフォンは除く)」(69票)が続いている。パソコンが主流となっているが、モバイル機器の利用も多くなっている。

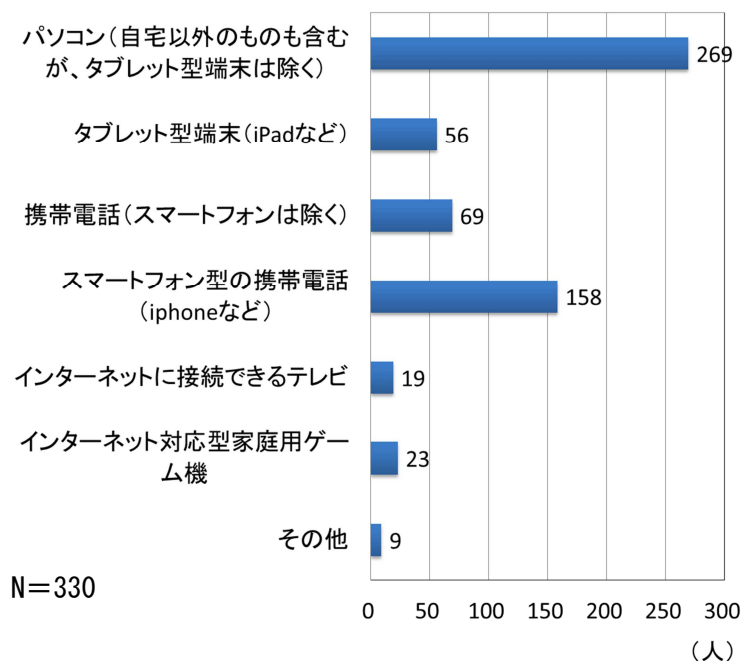


図10 インターネットを利用している機器

ウ) インターネットに接続している方法

問3-3.

問3-1で、「1~3」の中から回答された方にお尋ねします。

インターネットを利用している場合、どの方法で接続していますか。

(複数回答可)

インターネット利用者の接続方法については、「携帯電話やスマートフォンでの接続」(157票)が最も多く、僅差で「ケーブルテレビ回線」(151票)の利用が続いており、携帯電話やスマートフォンでの接続を除けば、ケーブルテレビ回線の利用が主流となっていることが分かる。

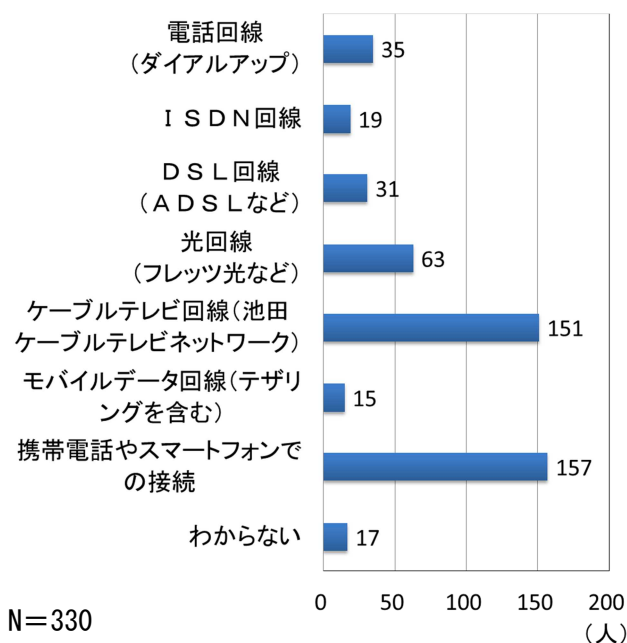


図11 インターネットに接続している方法

エ) インターネットで利用しているサービス

問3-4.

問3-1で、「1～3」の中から回答された方にお尋ねします。

インターネットに接続して、どのような機能（サービス）を利用していますか。（複数回答可）

インターネットで利用しているサービスとしては、「ニュースの閲覧」（209票）が最も多く、「気象・防災情報の閲覧」（206票）が僅差で続き、「電子メールの送受信（メールマガジンは除く）」（179票）、「動画投稿サイト（Youtube など）の閲覧・投稿」と続いている。

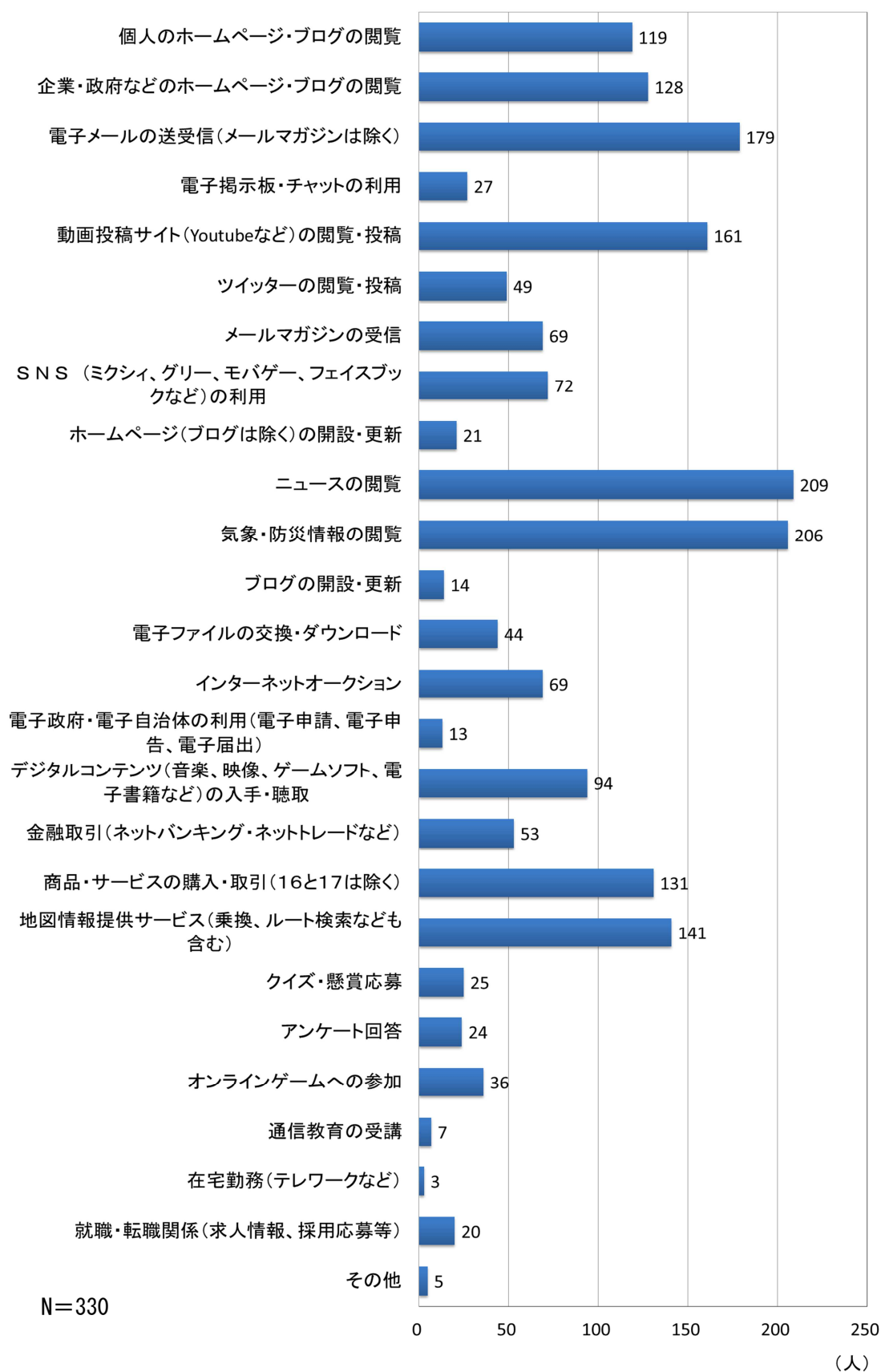


図12 インターネットで利用しているサービス



オ) インターネット利用の頻度

問3-5.

問3-1で、「1～3」の中から回答された方にお尋ねします。  
インターネットをどのくらいの頻度で利用していますか。

インターネット利用の頻度は「毎日少なくとも1回」(72.4%)の割合が圧倒的に高く、「週に少なくとも1回(毎日ではない)」(18.8%)を含めると9割以上が、高い頻度でインターネットを利用していることが分かる。

表11 インターネット利用の頻度

	回答数 (人)
毎日少なくとも1回	239
週に少なくとも1回(毎日ではない)	62
月に少なくとも1回(毎週ではない)	20
それ以下(年1回以上)	3
無回答	6
合計	330

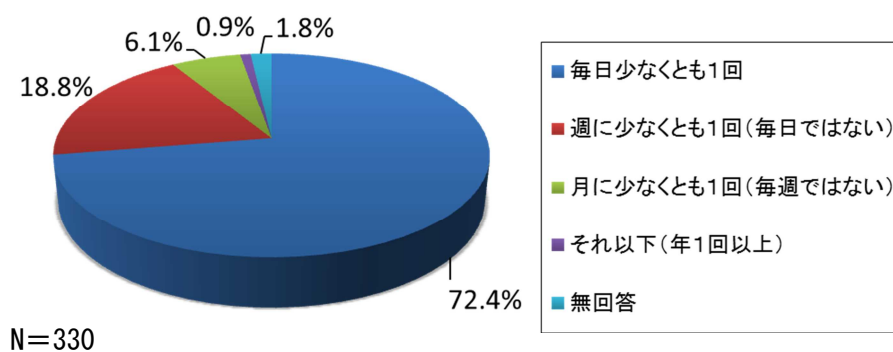


図13 インターネット利用の頻度

カ) インターネット利用における不安や不満 (インターネット利用者)

問 3-6.

問 3-1 で、「1~3」の中から回答された方にお尋ねします。  
 インターネットを利用して感じる不安や不満はありますか。  
 (複数回答可)

インターネット利用者の利用における不安や不満としては、「ウイルスの感染が怖い」(151票)、「個人情報の流出の危険性がある」(130票)が多かったほか、「通信料金が低い」(96票)、「回線速度が遅い」(89票)等の不満も比較的、高くなっている。

また「その他」(4票)では、「情報の信憑性への不安」等の意見が見られた。

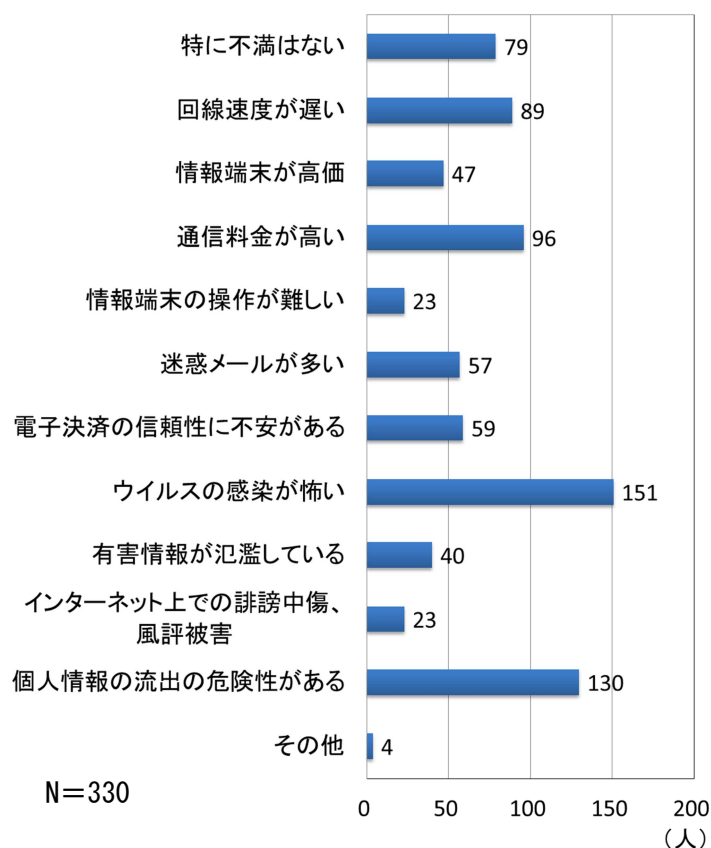


図 1 4 インターネット利用における不安や不満  
 (インターネット利用者)

キ) インターネットを利用していない理由

問3-7.

問3-1で、「4. 利用していない」と回答された方にお尋ねします。  
インターネットを利用していない理由は何ですか。(複数回答可)

インターネットを利用していない理由は、「利用する必要がない」(159票)が最多であり、「利用方法がわからない」(87票)、「興味がない」(85票)と続いており、ネットを利用していく上での不満等が理由となっている人は少なかった。

また「その他」(28票)では、「老人だから煩わしい」、「高齢で使用できない」、「家族がしているので必要がない」等の意見が見られた。

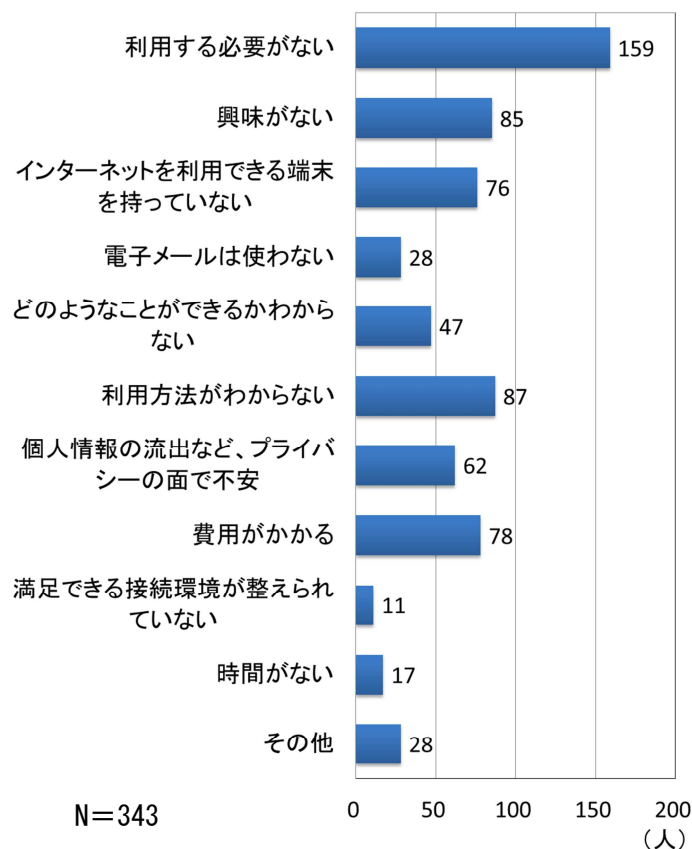


図15 インターネットを利用していない理由

ク) インターネット利用の意向（インターネット未利用者）

問3-8.

問3-1で、「4. 利用していない」と回答された方にお尋ねします。  
今後インターネットを利用したいですか。

インターネット未利用者の、今後のインターネット利用の意向は、「今後も利用しない」（71.7%）が大半を占め、「利用したい」（19.5%）は少数に留まった。

表12 インターネット利用の意向  
（インターネット未利用者）の人数

	回答数 (人)
利用したい	67
今後も利用しない	246
無回答	30
合計	343

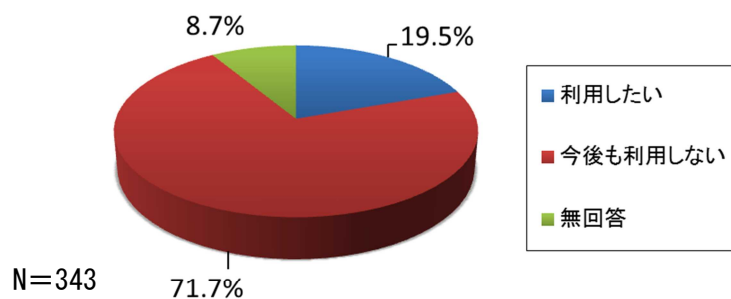


図16 インターネット利用の意向  
（インターネット未利用者）の割合

ケ) インターネットで利用したいサービス (インターネット未利用者)

問 3-9.

問 3-8 で「1. 利用したい」と回答された方にお尋ねします。

インターネットに接続してどのような機能 (サービス) を利用したいですか。(複数回答可)

インターネット未利用者が、インターネットでどのような機能を利用した  
いかについては、「気象・防災情報の閲覧」(40票)、「ニュースの閲覧」  
(32票)等の情報入手手段としての使い方が多いほか、「地図情報提供サ  
ービス」(20票)、「商品・サービスの購入・取引」(18票)等も、利  
用手段上位に上がっている。

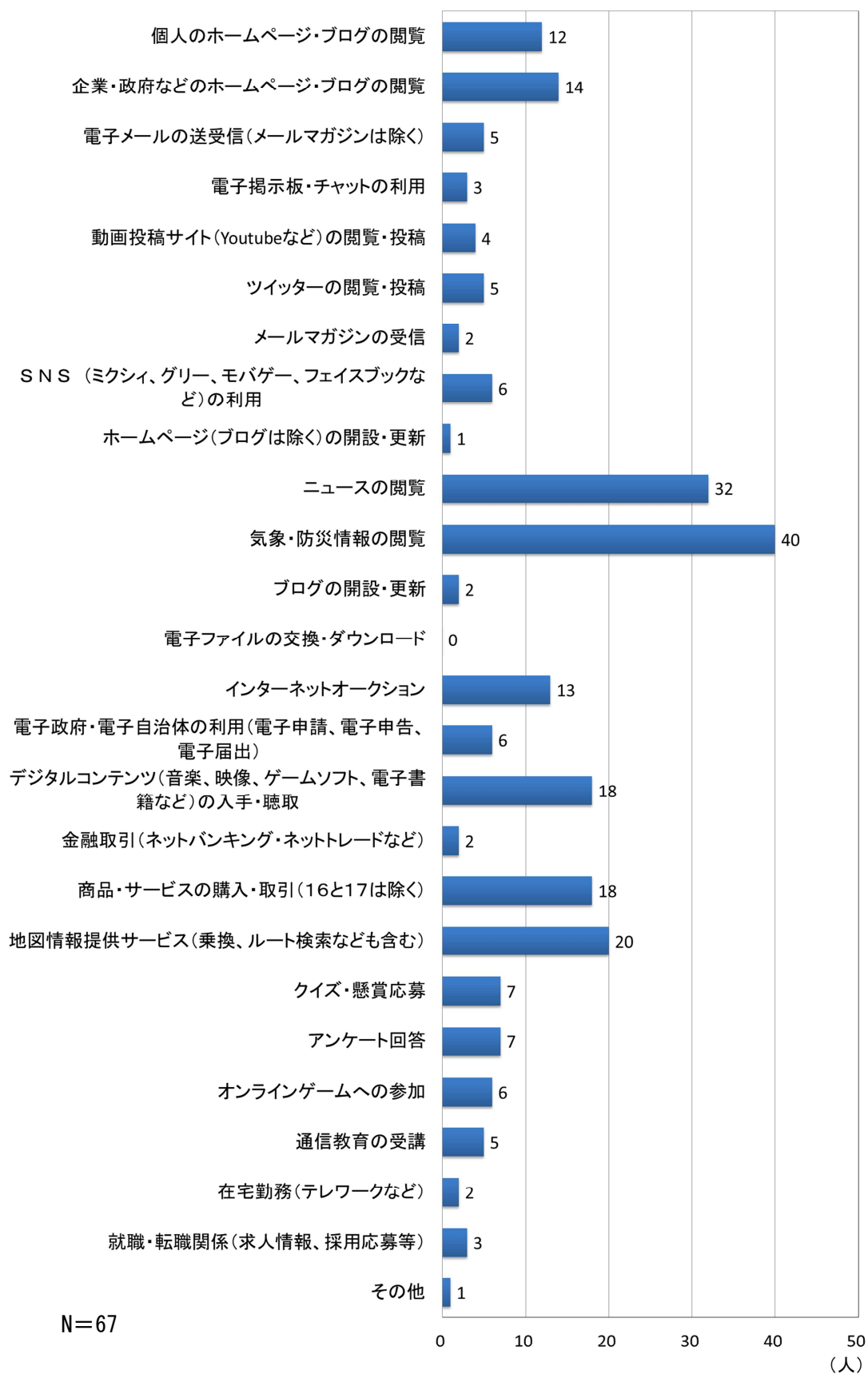


図17 インターネットで利用したいサービス(インターネット未利用者)

コ) インターネット利用における不安や不満（インターネット未利用者）

問3-10.

問3-1で「4. 利用していない」と回答された方にお尋ねします。  
 インターネットを利用する上で感じる不安や不満はありますか。  
 （複数回答可）

インターネット未利用者における、インターネット利用における不安や不満については、「特に不満はない」（112票）が最も多かったが、「個人情報流出の危険性がある」（74票）等の不安や、「情報端末の操作が難しい」（58票）、「通信料金が低い」（54票）等の不満も比較的多く見られた。

また「その他」（41票）では、「年寄りでインターネットについていけないと思う」、「インターネットができないと世の中に乗り遅れている感じがする」、「高齢のため、活用できる範囲が狭いのではないかと不安」等の意見が見られた。

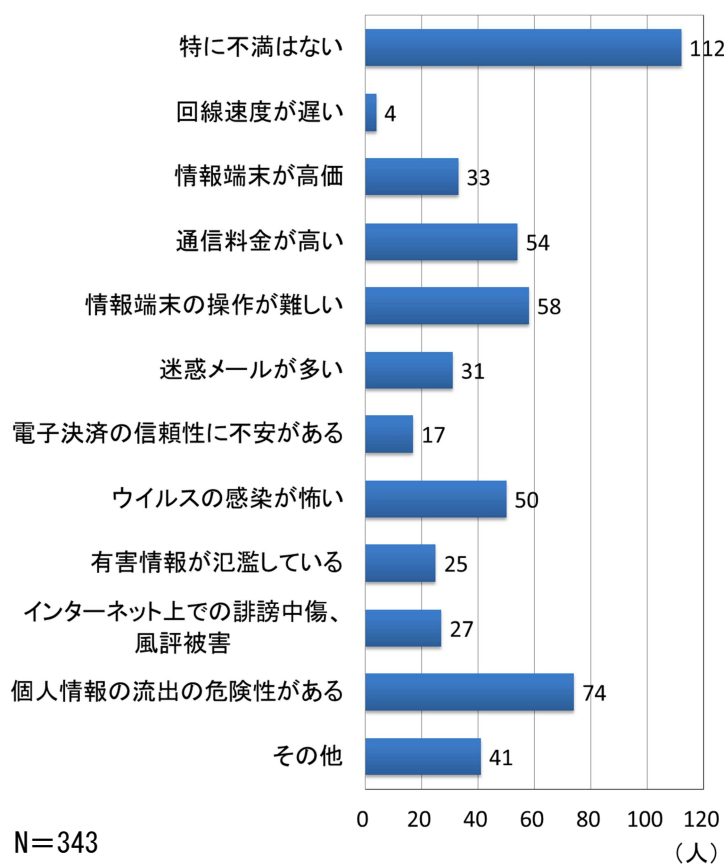


図18 インターネット利用における不安や不満  
 （インターネット未利用者）

サ) インターネットの知識や技術を習得するための方法

問3-11.

インターネットの知識や技術を習得するためには、どのような方法がよいと思いますか。(複数回答可)

インターネットの知識や技術の習得方法としては、「最寄りの公共施設において自治体主催のパソコン講習会を実施」(246票)、「地域の集会場などを利用してボランティアによるパソコン講習会を実施」(223票)といった、地元地域を対象とした講習会による方法が多く選ばれているほか、「学校教育において知識や技術を習得する」(206票)も多い結果となっている。

また「その他」では、「少人数で講習会を実施してほしい」、「誰でも受講できる方法がよい」、「家族や友人が教える」、「職場での研修」等の意見が見られた。

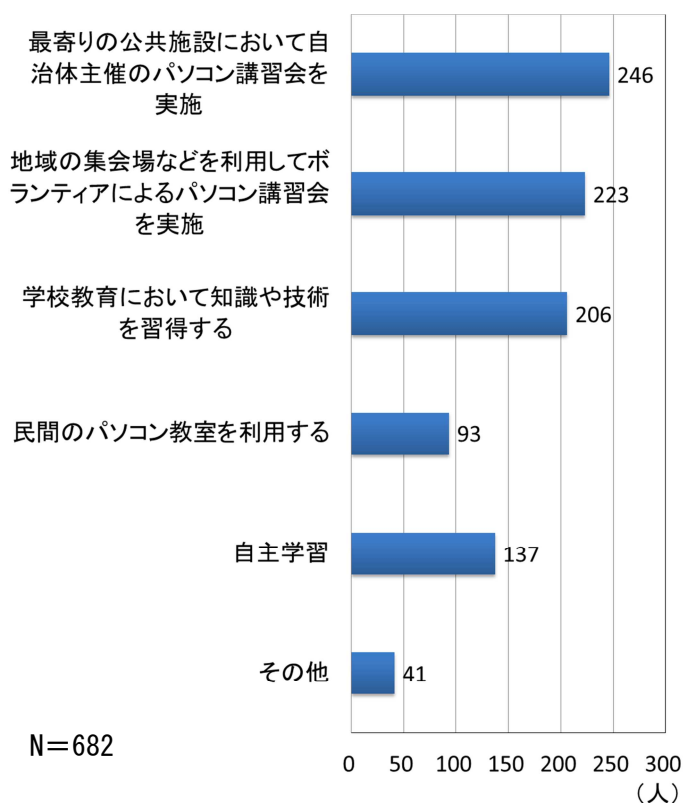


図19 インターネットの知識や技術を習得するための方法



(5) 三好市内の通信基盤の状況について

ア) 三好市内全域における高速（光）インターネット化の認知度

問 4 - 1.

あなたは、ケーブルテレビの整備によって、市内全域で高速（光）インターネットの利用が可能になったことを知っていますか。

三好市内全域で高速（光）インターネットの利用が可能になったことについて、過半数を超える63.6%が「知っている」と答えており、三好市内のインターネット環境に整備に関して、認知が広まっていることがうかがわれる。

表 1 3 三好市内全域における高速（光）インターネット化の認知度（人数）

	回答数 (人)
知っている	434
知らない	231
無回答	17
合計	682

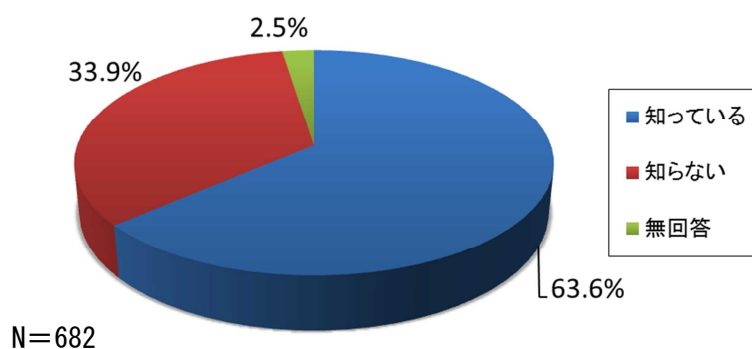


図 2 0 三好市内全域における高速（光）インターネット化の認知度（割合）

表 1 4 地区別の高速（光）  
インターネット化の認知度（人数）

	知っている	知らない	無回答	合計
三野地区	62	44	2	108
池田地区	216	97	6	319
山城地区	50	38	3	91
井川地区	65	29	3	97
東祖谷地区	21	7	2	30
西祖谷地区	18	13	0	31
地区不明	2	3	1	6
合計	434	231	17	682

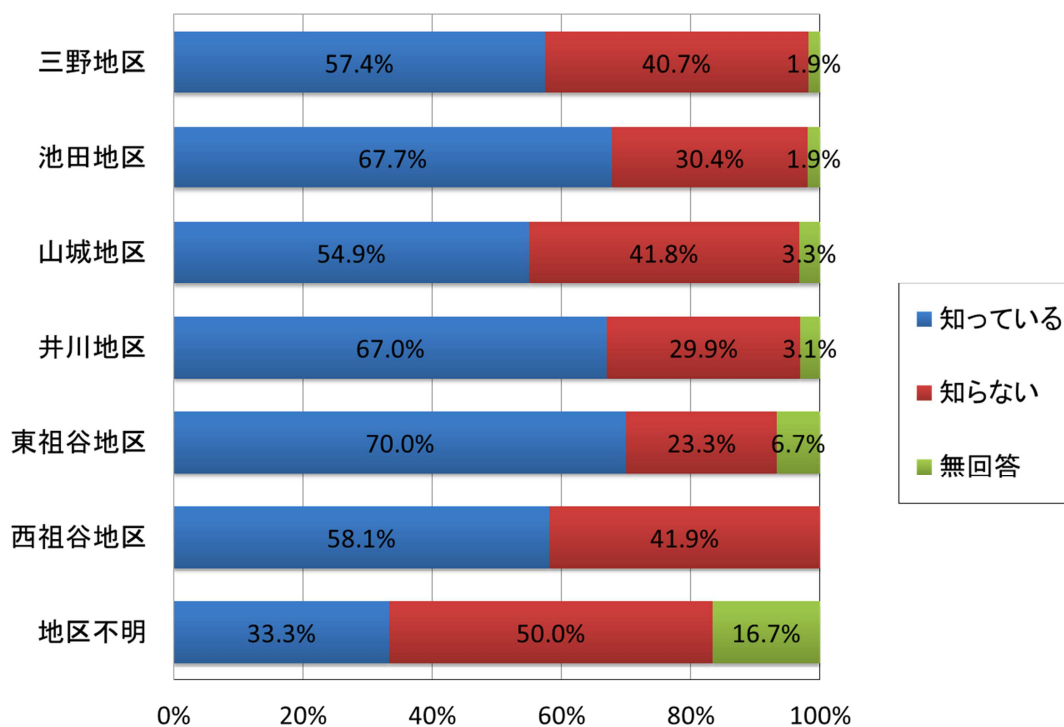


図 2 1 地区別の高速（光）  
インターネット化の認知度（割合）

(6) 日常の情報入手方法について

ア) 情報入手方法

問5-1.

あなたは、いろいろな情報を手に入れるために、どのような方法を利用していますか。(複数回答可)

情報の入手方法では、「テレビ」(614票)が最も多く、続いて「新聞・広告」(517票)、「市報みよし」(376票)と続いている。インターネットによる情報入手も広まっているが、未だ従来の媒体による情報入手が主流であることが分かる。

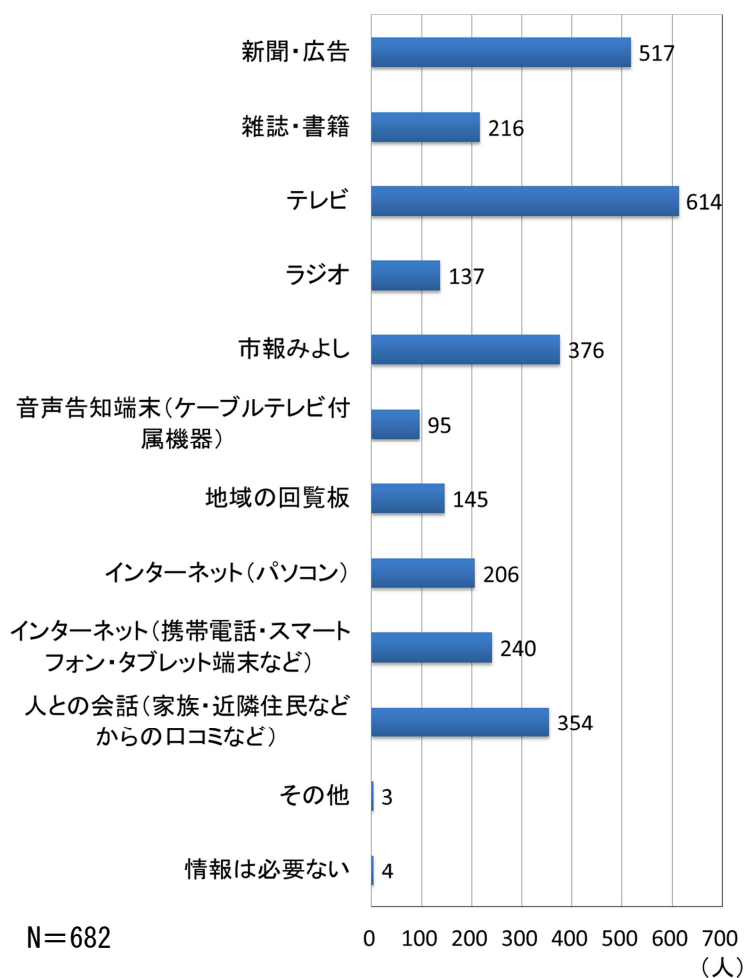


図2-2 情報の入手方法

イ) 情報を入手するために持っている機器

問5-2.

いろいろな情報を手に入れるために、あなたが持っている機器はどれですか。(複数回答可)

情報入手のための利用機器については、「携帯電話（スマートフォンは除く）」（292票）での利用が最も多く、「パソコン」（266票）、「スマートフォン型の携帯電話（iphoneなど）」（187票）が続いている。パソコンも多いものの、全体的にはモバイル端末が多くを占めている。

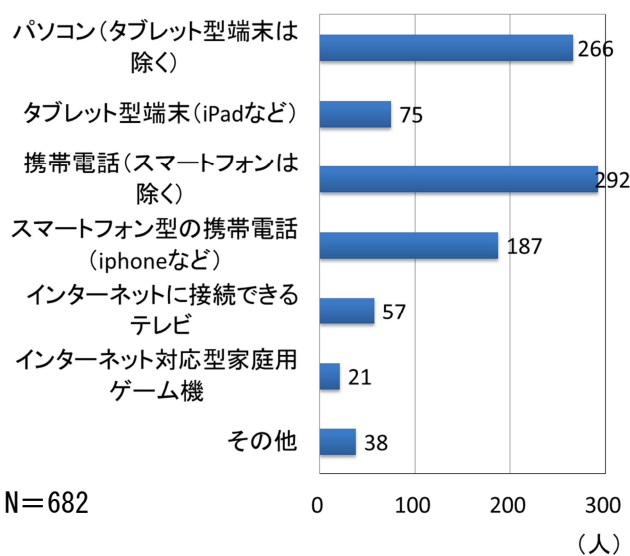


図23 情報を入手するために持っている機器

ウ) 今後の情報入手方法

問5-3.

三好市からの情報を、今後どのような方法で入手できるようになれば便利であると思われますか。(複数回答可)

「CATVによって情報が得られるようになる」(385票)、「テレビやラジオ放送によって情報が得られるようになる」(290票)が上位に入っており、「インターネット(メールマガジンなど)を利用して情報が得られるようになる」(141票)より、従来の媒体を利用した情報入手を望む声が多いことが分かる。

また「その他」(21票)では、「市職員等による戸別訪問」、「CATVから必要な情報をプリントアウトできるようになると良い」等の意見が見られた。

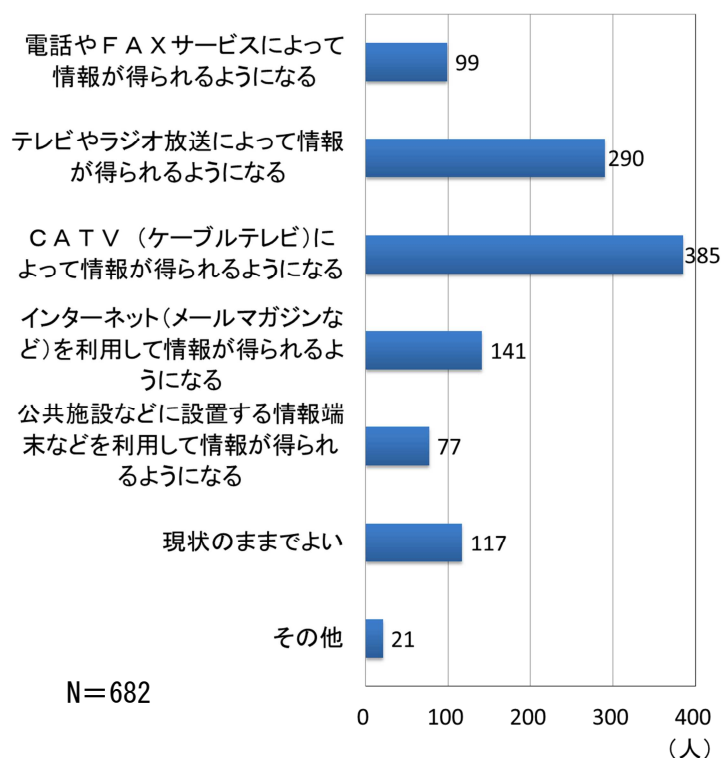


図2-4 利用できれば便利な情報入手方法

(7) 必要な情報の種類について

ア) 三好市内からの情報で必要としているもの

問6-1.

三好市内からの情報で、あなたが必要としている、又は関心のある情報はどのようなものがありますか。(複数回答可)

「災害や防災に関する情報」(433票)、「急病などに対応できる病院案内などの救急医療や病院の情報」(355票)、「役場への届け出・手続きに関する情報」(302票)、「ごみ処理の日程など生活環境に関する情報」(284票)、「不審者や犯罪の発生などの防犯に関する情報」(283票)といった市民の安全や生活に密着した項目が上位となっている。

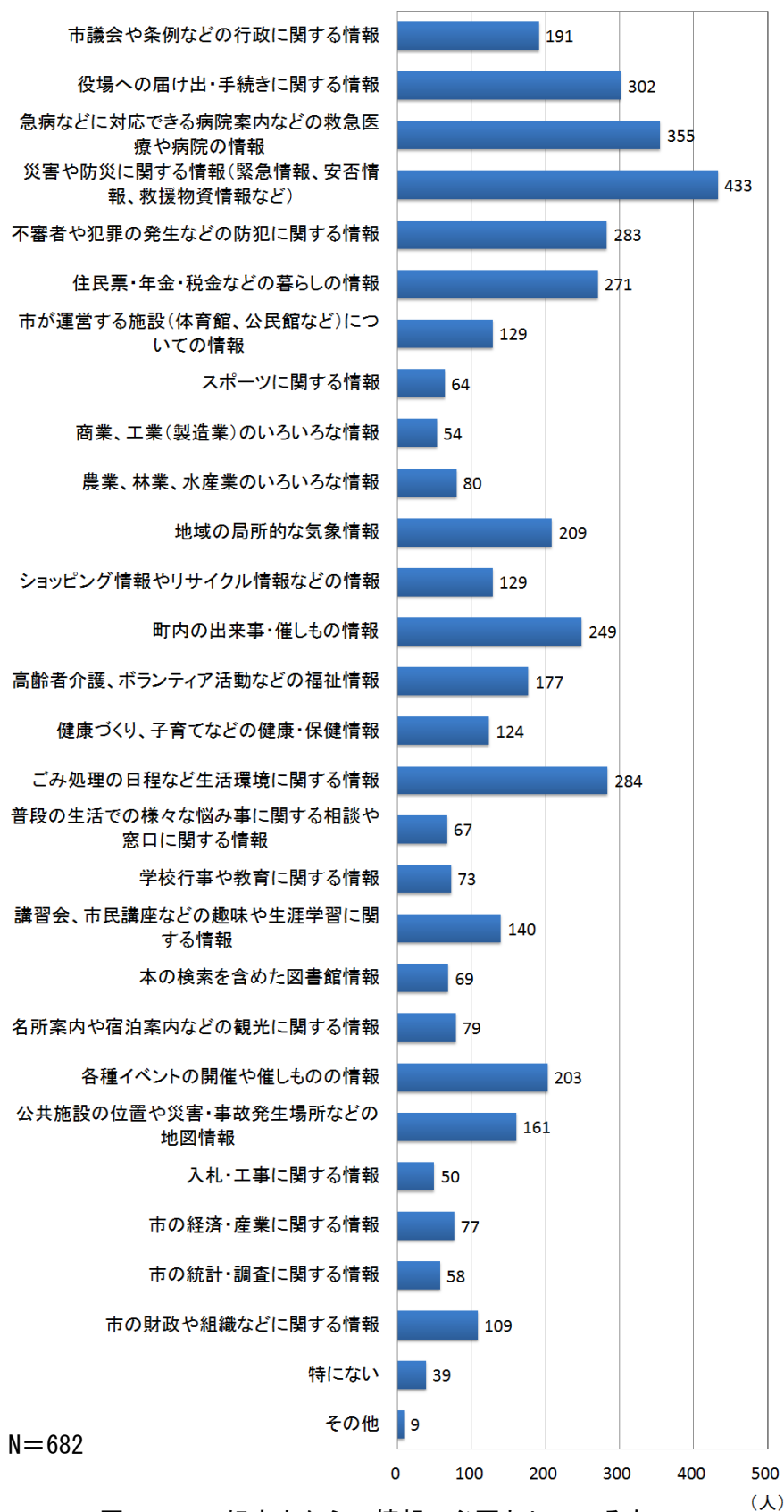


図 2 5 三好市内からの情報で必要としているもの

- (8) 三好市のホームページについて  
 ア) 三好市のホームページについての感想

問7-1.

市のホームページについて、どのような感想をお持ちですか。

(複数回答可)

三好市のホームページへの感想は「利用していない・わからない」(414票)が多数を占めており、利用頻度が少ない状況となっている。その他の感想では「情報がみつけにくい」(79票)、「便利なサービスが少ない」(42票)が比較的多い。

また「その他」(33票)では、「更新の頻度が少ない」、「情報の掲載が遅い」、「画像等が見にくい」等の意見が見られた。



図2-6 三好市のホームページ  
 についての感想



イ) 三好市のホームページなどでよく閲覧しているサイト

問 7-2.

市のホームページなどでよく閲覧しているサイトはありますか。  
(複数回答可)

三好市のホームページなどでよく閲覧しているサイトについては、「どのホームページも知らない」(257票)が最も多くなっており、三好市に関連するサイトの認知度が低いことが分かる。

また、最も閲覧されているサイトは「三好市ホームページ」(120票)であり、逆に最も閲覧されていないサイトは「三好市ブランド構築委員会フェイスブック「三好の旬感」」(6票)であった。

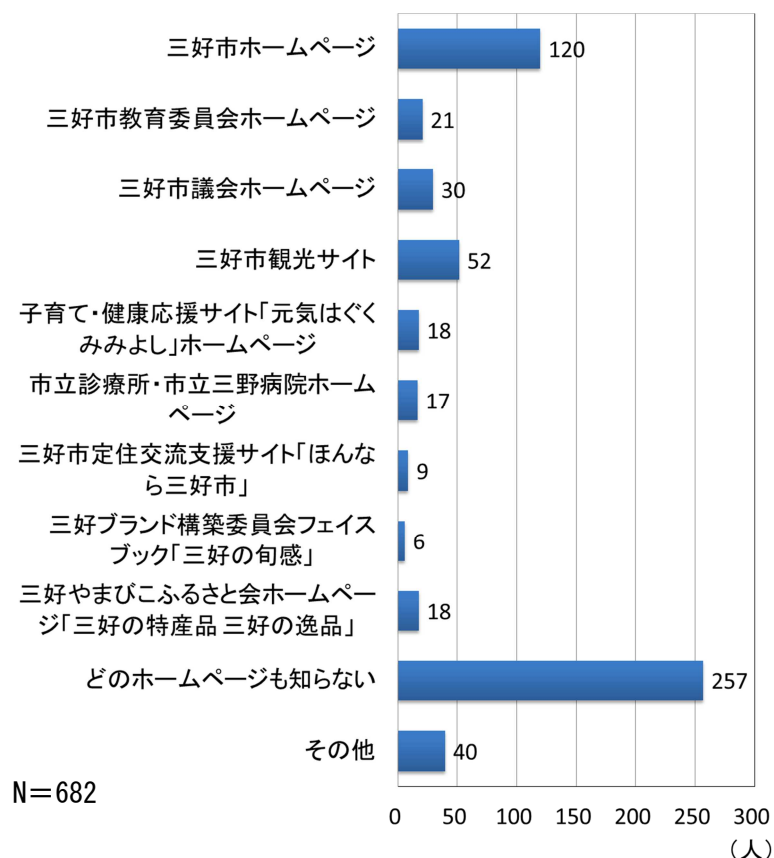


図 27 三好市のホームページなどでよく閲覧しているサイト

ウ) 三好市のホームページなどでよく利用しているサービス

問7-3.

市のホームページなどでよく利用しているサービスはありますか。  
(複数回答可)

三好市のホームページなどでよく利用しているサービスについては、「どのサービスも知らない」(268票)が最も多くなっており、問7-2と同じく、三好市に関連するインターネット上のサービスも、認知度が低いことが分かる。

また、最も利用されているサービスは「三好市地図情報ライブカメラ」(66票)であり、逆に最も利用されていないサービスは「エルタックス(税の申告・申請など)」(3票)であった。

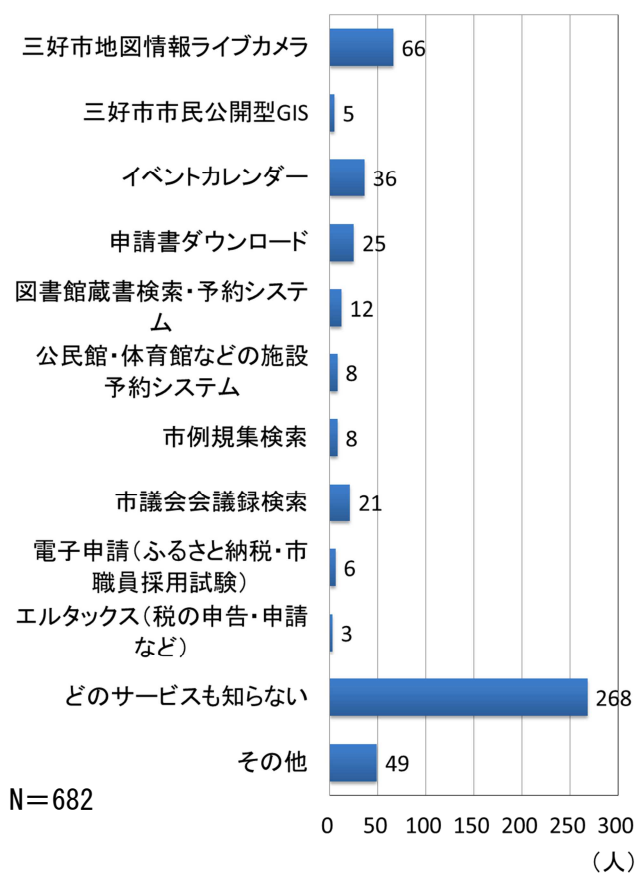


図28 三好市のホームページなどでよく利用しているサービス

(9) 三好市の情報化への期待と不安について

ア) 三好市のまちづくりを進める上で、充実していくべき情報化分野

問 8 - 1.

今後、本市のまちづくりを進める上で、より充実していくべき情報化の分野は何だと思えますか。(複数回答可)

充実していくべき情報化の分野については、「健康・医療サービスの充実」(270票)、「高齢者や障がい者福祉の充実」(244票)、「危機管理・防災の充実」(234票)が上位となっており、高齢者の割合が高いこともあり、健康や福祉、防災等への関心が高いことがうかがわれる。

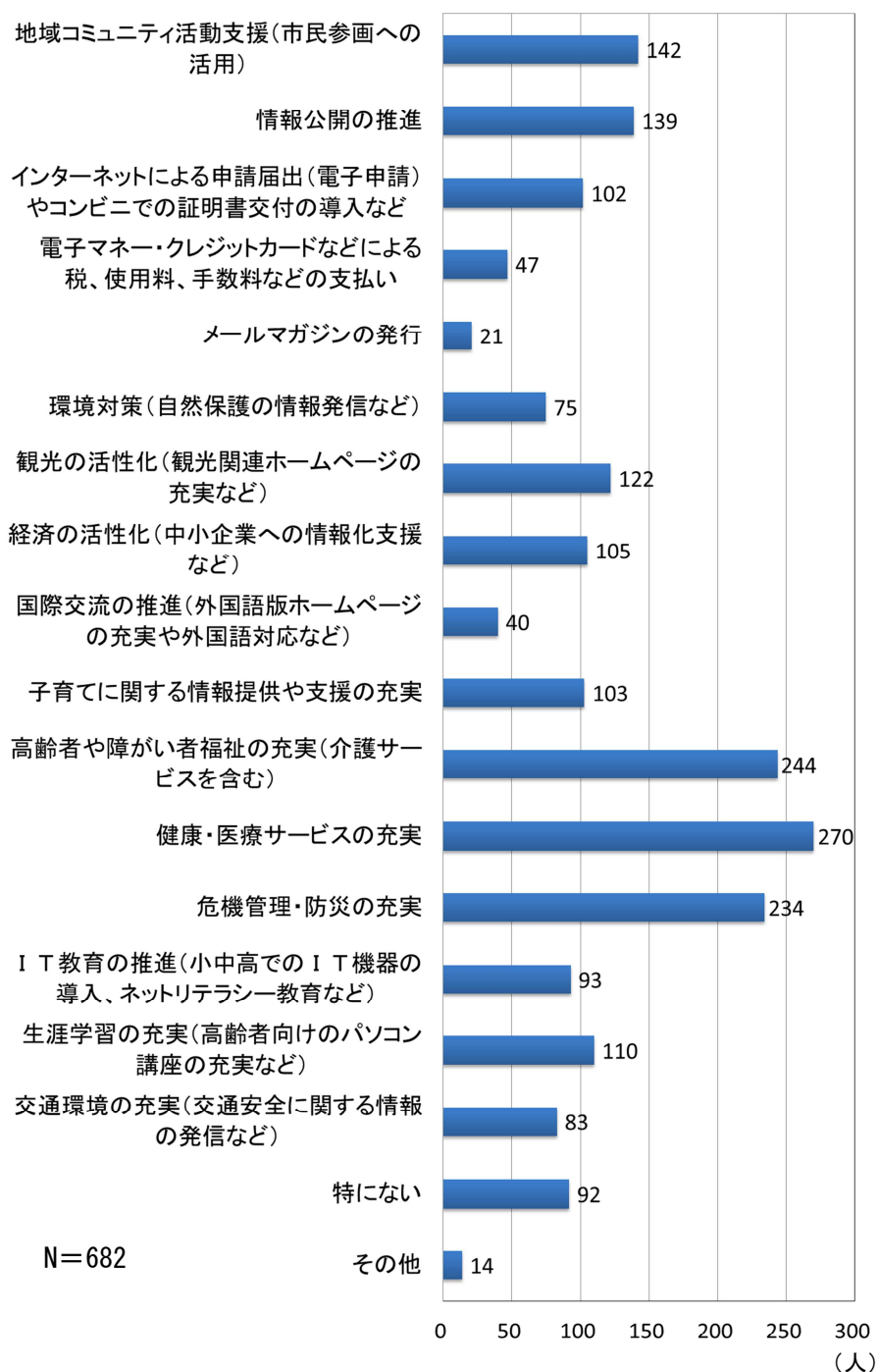


図 2 9 三好市のまちづくりを進める上で、  
充実していくべき情報化分野

イ) 三好市が情報化を進めるにあたって、特に注意すべき点

問 8 - 2.

市が情報化を進めるにあたって、特に注意すべき点は何だと思えますか。  
(複数回答可)

三好市が情報化を進めるに当たって注意すべきこととして、「個人情報については、プライバシーが守られるよう、厳重に注意する」(434票)が最も多く、「機器の操作はできるだけ簡単なものにする」(282票)、「適切で信頼性の高い情報提供を行う」(234票)が続いている。

また「その他」(24票)では、「地域に出向いて、肉声で説明をお願いする」、「インターネットを導入していない人にも配慮してほしい」、「情報弱者に対する情報提供の方法を考えるべき」等の意見が見られた。

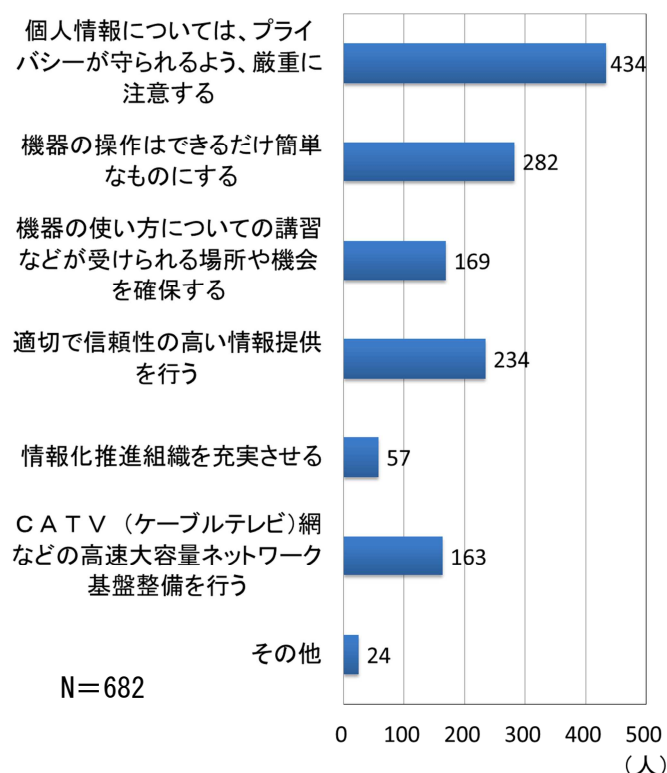


図 30 三好市のまちづくりを進めるにあたって、特に注意すべき点

ウ) 将来の情報化に期待すること

問 8 - 3.

あなたが将来の情報化社会に期待することはどのようなことですか。

(複数回答可)

将来の情報化社会に期待することとして、「家にいながら健康状態を伝え、医師の診断・指示を受けたり、急患の場合の救急病院の案内・応急処置の仕方などの情報が得られる」(360票)が最も多く、高齢者の多さを反映した結果となっている。

その他、「ニュース、天気予報、健康、子育て、趣味などの情報、公共団体のお知らせ、地域情報などいろいろな分野の情報がほしいときにすぐ入手できる」(255通)、「郵便局・コンビニ・最寄りの公共施設などから様々な行政サービスが利用できる」(228票)が続いている。

また「その他」(19票)では、「貧富の差が関係なくサービスを受けられるようにしてほしい」、「限界集落の問題を解決」、「電子投票の充実」等の意見が見られた。

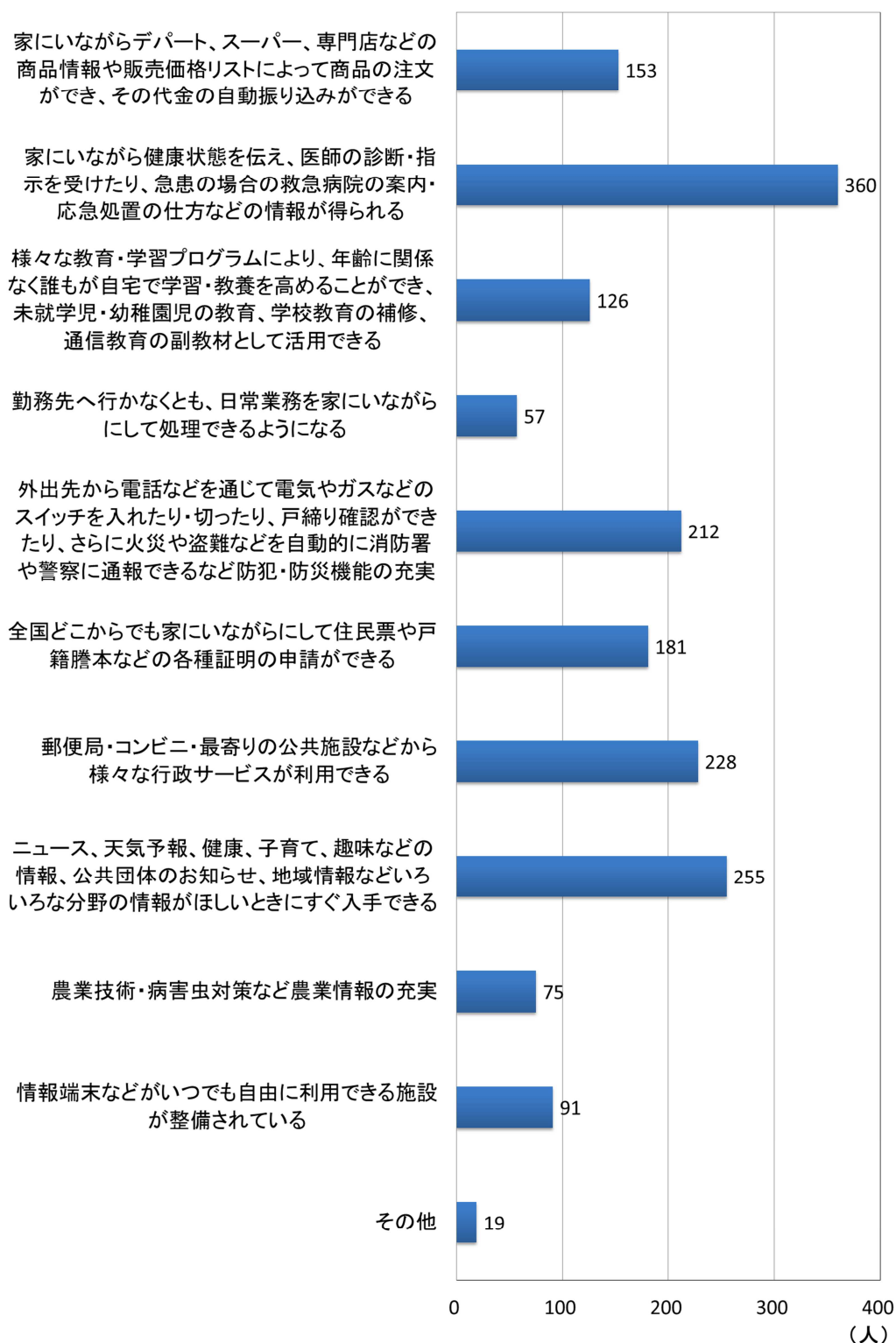


図 3 1 将来の情報化に期待すること

(10) 自由意見

自由回答

市の情報化について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

※ 下記の自由意見はすべて、アンケート用紙に記載された原文のまま掲載している。

【ご意見】

1. 今は本当に多様化の時代で、人によっては要らない情報があり、また反面関心を持って必要とするような時代です。特に私が提案したい事案は、議会等でいろいろと話題になったり、そしてまた問題になったりしたことが最後まではっきりと明確に市民に整理のついた情報の提供を求めたいと思います。このようなことは、市政の根幹に係るアカウントビリティーと考えます。これからの市政の運営に期待しております。もちろん市民も共に汗をかくことが何より大事だと思っております。(50代女性)

2. タブレットのような物など、わからないところを気安く尋ねることができるといい。(30代男性)

3. せっかく市内全体で高速インターネット(光)が整備されているのだから、他にない有効利用を積極的に取り入れ、実行してほしい。できれば利用金額を下げてほしい。特に導入費。ケーブルテレビの新導入は高すぎる。利用率をもっと高めること。(60代男性)

4. 情報化を進めるのであれば、モラルやメディアリテラシーに関する教育を徹底させる必要があると思います。基本的な使い方(ネットなど)を身に付けることはそこまで難しくないとはいいます。それ以上に、情報を自ら取捨選択する能力をきちんと伴わせることが重要であると考えます。(20代女性)

5. 市の中心部ばかりでなく、祖谷地方のようなところへも光が当たるような市政を希望する。(70代以上男性)

6. 今回の災害で電気、電話、郵便など通信が3日間途絶え、不安な日々を送った。便利な生活に慣れてきた事に”喝”を入れられたような気がする。情報化が進んで便利に



なるのはいいが、人と人との関わり方が大切で、それがあっての情報化だと思う。

(50代女性)

---

7. ライブカメラの増設をお願いしたいです。日本中の、世界中の人々が気軽に見えて、実際に目にしたいと思われる方々は、たくさんいらっしゃると思いますし、防災にも役立つと思います。避難する前にライブカメラで情報を入手し、移動すれば、移動中の危険に対しても対応できると思います。何より市が状況を把握しやすくなるんじゃないでしょうか？(30代男性)

---

8. わかりやすく、確実に信頼のできる情報化を期待しています。(30代女性)

---

9. 高齢化社会になってきているので、老人にくわしく、はっきりわかるように伝えて、喜んでもらえるような情報化社会になってほしい。(70代以上男性)

---

10. 今回大雪などで最新の機器が全く役に立たなかった。高年齢の方でも簡単に使えるハンディタイプの無線機を使用してはどうか。くわしくは地域ごとに対話して進めていったらよいと思う。(60代男性)

---

11. 時代おくれかもしれないが、パソコン、インターネットを市民全部が使えるようにする目的でアンケートした？市職員、議員はその方が楽…。池田…市は人口減、財政…考えているのか？ 反対にアンケートしたい、ケーブルテレビの内容を教えてほしい。(70代以上男性)

---

12. 遅れているのでは？他の自治体のまねではなく、独創的なものを考えてください。(60代男性)

---

13. 市の情報化についてメリットがある反面デメリットもあるので、慎重に検討されたい。(60代女性)

---

14. 税の使用(税収)先、金額など、公務員の給料をもっと明確にわかりやすく知りたい。意見箱などの設置よりもメールや電話で伝えられるようにした方がよいと思う。意見があってもわざわざ市役所に出向かなければならない。(30代男性)

---

15. 何十年に1度の大雪で井内地区の住民が大変不自由な思いをされた事を話で聞き、電気の停電で何もかも使えない事を知り、IP電話、携帯電話のいざという時の役に立たない事、オール電化のための不便さ、寒い、暗いと不安が身にしみてわかります。こ

れから考える事になりそうです。自衛隊の方々、消防署の方々、市役所の方々などに大変お世話になりました。厚くお礼を申し上げたいと思います。(40代男性)

---

16. ケーブルで放送された映像を市のホームページでも見れるようにしてほしい。(30代女性)

---

17. 市への提言 三好市は拡大な地域を有し、すばやく情報が集まらない。そこで土日祭日でも総合支所で地域の事が明確になるシステムを考えるよう重ねて要望いたします。(70代以上男性)

---

18. 市の情報計画もいいですが、私たちには、年寄り同士でいつも話すことは交通の不便さです。バスの回数をもう少しふやす事を考えてほしいです。選挙、買い物に行くときにも大変です。車も乗らない、家族もいない一人の人が多いのですから。また、ゴミも年末年始は30日までは働いていただきたいです。一般の方は30日まで仕事しているのです。市も一緒にして下さい。(60代女性)

---

19. ①ICT化は必要であるが、それにばかりに傾ってはならない。アナログもバックアップとして使っていかなければならない。②多額な予算の割には、費用対効果のバランスが悪いのではないか。(60代男性)

---

20. 学校教育においてタブレット使用を願う。(50代男性)

---

21. ケーブルテレビからのお知らせを確実に早くしてほしい。例 うだマルシェの開催はフェイスブックで知った。本来ならケーブルテレビや市のホームページで知りたい。アンケートを活かして下さい。(40代男性)

---

22. 情報はCATVで流すべきだ。また、何のためにインターネットが必要かよくわからない。別にインターネットは必要ないと考えてますが。(60代男性)

---

23. 市に関する最新の情報をいち早く入手できるようになれば暮らしが便利になると思う。(20代男性)

---

24. 疑問があつて市の窓口にお問い合わせをしても職員の対応はいつも冷たい感じがします。分からないことを聞いているのに上から目線の対応では情報化にはならないと思います。分からないことでも親切丁寧に対応する事が大事だと思います。(30代女性)

---

25. 高速インターネット料金を値下げ！ 市民大学講座のネット中継（より多くの人に見ていただく）（60代男性）

---

26. 冬になるとインフルエンザやノロウィルスが流行するが、学校の教室に空気清浄機の設置をしてもらいたい。少しでも感染が防げると思う。（50代女性）

---

27. 観光目的の交通の不便、市内の観光設備の充実（自然を生かした物）（60代男性）

---

28. ・PC・タブレット等について操作が楽にできないか。 ・サービス利用代金の支払いについて検討が必要（60代男性）

---

29. 今はパソコンで種々な情報がわかる時代です。中高年の人たちが簡単にパソコンをこなせる事ができるようにしたいですね。パソコンは何でも答えてくれていいですよ。（70代以上女性）

---

30. 市内で行われているイベントなどの情報や防災に関する情報など生活に密着した情報をメールマガジンのように定期的に発行してもらいたい。広い三好市で自分の住んでいる地域以外のイベントなどの情報を知らずに過ごしているので、もったいないと思うことが多々ある。仕事や子育てをしていると、テレビを見る時間もなかなかとれず、ケーブルテレビなどでは情報を得る機会が少ない。メールなら毎日どこにいても（外に出かけていても）チェックできるので、市の情報がメールから得られるとありがたい。（20代女性）

---

31. 高齢化のすすむ、三好市で、年寄りにも、理解できて、気軽に、使えるような情報入手の手法をお願いします。インターネットを使えなければ、情報入手が不可な時代となりつつありますが、年寄りを、考えた情報化をお願いします。（60代女性）

---

32. 情報化の時代に乗り遅れないようにしたいので市の方で指導してもらいたい。乗りおくれたら人生終りと思います。（70代以上男性）

---

33. 今回の積雪により、情報化を進めるといっても停電してたら情報化どころではないのですか？カゲノ漆川の方は水が止まって雪とかけて飲んだらいいですよ。もっと情報化より大事なものがあるのではないのでしょうか。（40代女性）

---

34. 市報みよしは隔月に年6回でよい、経費の無駄。(70代以上女性)

---

35. 誰れでも出来る、簡単で分かりやすい情報システムが出来る事を期待します。  
(60代男性)

---

36. 日本のみならず世界のニュースはテレビの情報によりよく知ることはできるが三好市の情報となるとよく判からない。何故ならば、月1回の市報によって一部分のことは知ることができますが、我が集落も高令者が大半であり、私自身も高令のため出歩くことも少なく自治会の人とも数ヶ月も顔を合わせることもない限界集落と言える自治会である。経済情勢も、わが三好市は全国812市の中で807位に位置する苦しい財政の市であることからして、市議・自治会長等が判断力、決断力を養い、市民の生活や集落の発展に目を開いて行動して欲しい。「ここを何とかせねば」ということが非常に多い日々である。(70代以上男性)

---

37. 設問等の言葉の中に常々聞きなれた言葉などは多いのですが、さて、それを利用して……となると使った事もなければ見た事もないような言葉にふりまわされて如何にも我ながら時代遅れの感がしてなりません。小生現在年令は85才の半ばを過ぎました。それでも何とか時代おくれになるまいと思う気持ちはありますがこれは?と思うとすぐに新しい言葉にふりまわされてそこでoutという感じです。しかし極力ガンバツテという気持ちはあります。またよろしくたのみます。(70代以上男性)

---

38. 防災の情報を少しでも早く共有できるサービスの利用向上 ex) ~の道が通行止めになっている等 市のこうほう等で情報共有のきっかけを作ってみる。(20代女性)

---

39. 特定の人ばかりが理解できる用語を使うのではなくパソコン教室のように日本語に訳した表現を使い理解できるような本か何かを備品として配ってほしいです。ある程度の年令の人には意味があるかも?(50代女性)

---

40. 今は健康体ですが高齢の為、急病の時などに医療関係が間に合えるようになれば幸せと思います。他の事ですが、ゴミの出し方に協力して、よく分別してもらいたいです(私の家は10種類余りに分別しています)。(70代以上女性)

---

41. 卒寿の私は何のお役にもたらず日々を過ごしております。大変申し訳なく存じますがどうぞよろしくお願ひします。三好市の発展の為日夜御活躍頂いております事心から感謝申し上げます。良いお年をお迎え下さい。(年齢性別未回答)

---

42. 今回の雪害でIP電話の弱点も発見できたので、今後自力での電力供給やワイヤレス方式も検討されたらいかがでしょうか？(60代男性)

---

43. インターネットを利用している人(高齢者70才~)が少ないので、利用しやすい環境、利用方法をもっともっと講習会等に参加できるように回数を増やしPRをすべき。(60代女性)

---

44. ケーブルテレビのプログラムの内容がタイムリーでなく、くだらない。(50代男性)

---

45. 市の職員は上から目線すぎです。対応よろしくをお願いします。(30代男性)

---

46. アンケートだけでなく、実践するようにしてほしい。(40代女性)

---

47. ICTを活用してない者は市の情報が伝わりにくいのですか。(60代女性)

---

48. 情報の発信時間を考慮してほしい。夜の時間帯PM7:00ニュースの時間にいつも発信されて気象情報とかニュースが聞こえなくなる。(60代女性)

---

49. 日常生活で困った時、何課に伝えていいか分からないので、細かくどのような業務をしているか、公開してほしい。(40代女性)

---

50. 市の情報化は今のままで良いと思う。他へ予算を回したほうが良いと思う。(30代男性)

---

51. 行政サービスが民業圧迫しないようにお願いします。(40代男性)

---

52. 鹿・猪・猿・ハクビシン被害対策。(50代男性)

---

53. 高齢者が特に多い三好市では、高齢者が元気で明るく楽しめる行事が必要と思われます。そのためにも、庶民が集える多目的ホールは必要と思われますが、いかがでしょうか(公共放送局が喜んで来ていただけるような)。三好市は全国でも実に素晴らしい町なのでありますから。(70代以上女性)

---

54. CATVのCMや市議会放送はいらないので、火災や道路情報、地震情報、運動

会、子供の行事を流して欲しい。あと、救急 HP の変更など…。(30代女性)

---

55. パソコンの利用について、貧富の差のある社会の中で住民全世帯に使用できるようになっている事でしょうか。もし仮に薬を病院に行かなくて手に入るとしたら人を殺すのに使用できませんか。(年齢性別未回答)

---

56. CATV、光ケーブル 先日のようなリスクがないように。(停電で連絡網が…)  
(60代女性)

---

57. 災害にすばやく対応できるように！(60代男性)

---

58. 金がかかるが、情報機器の更新をしていくことが必要である。(50代男性)

---

59. 音声告知端末についての要望 本機にはバッテリーが内蔵されていると思うが、数年前から寿命がきているものが多く見られる。バッテリーは高価であるので行政において少なくとも補助があってもいいものと思うので一考願いたい。補助額は1/2程度でもよいと思う。(60代男性)

---

60. 台風、大雨、大雪の時にJRや四国交通、町営バス(スクールバス)の運行状況をケーブルテレビや放送で伝えてほしいです。(40代女性)

---

61. 今回雪のためのIP電話が使えなくて安否確認が遅れたことは、今後に向けて考えていかなくてはならないと考えさせられました。(50代女性)

---

62. 若者は市役所に用はない、ほとんど若者向けのサービスがないから。福祉サービスの必要な高齢者は電子機器が使えない。若者は自力で情報を検索することができる。市役所は情報弱者の高齢者向けに情報提供することに特化すればよい。ただし、高齢者は情報をみずから検索することはしない。文章・文字を読むこともしない。難しい行政用語では高齢者は読む気がしない。電子機器が使えない、使わない高齢者向けに情報提供する方法を考えるべき。高齢者はみずから情報を検索しないからCATV等で一方的に情報を流し続けるのが良いと思う。(40代男性)

---

63. 市の情報が生活に入っていないと感じています。一方通行になっているようです。情報に対して特に災害に対する対応は迅速化を望みます。(60代女性)

---

64. ホームページの最初の画面に市長室など不要で災害や不審者、緊急診療などに関

するページへ1クリックでつながる様に簡単にすべきである。(60代男性)

---

65. 市が情報化されることは良いことだと思いますが、人と人とのつながりをなくさないようにすることも大切だと思います。(10代女性)

---

66. 現在は情報が多すぎる。何が大切な情報なのか選択するのが大変。3年前までインターネットでいろいろ情報を集めていたが、インターネット依存症になっていた。3年前に止めた。本当に必要な情報はそんなに多くない。今の私にとっては市報だけで十分暮しにこまらない。無駄な情報が多すぎる。変なパンフや冊子を作るなら、もっと弱者に厚い福祉を。(60代男性)

---

67. パソコン教室へ通いたいと思うが夏場は、仕事で多忙、冬になったら行こうと思いつながら何年か過ぎてしまった。近くに教習所があれば行って勉強してみたいと思う。(70代以上女性)

---

※ 本アンケートが実施された期間の直前である、平成26年12月5日(金)、徳島県西部の山間部において大雪となり、三好市及び東みよし町の計4地区がしばらくの間、孤立状態となった。孤立地区では停電によるIP電話が利用できなくなる等の通信における問題が見られた。

### 3. 過去の地域情報化に関する住民アンケートとの比較

平成14年に池田町内の住民を対象として実施した、池田町テレトピア計画策定に伴う「地域情報化に関する住民アンケート」（以下、「前回アンケート」という。）の結果と、本アンケート結果との比較を行った。

#### (1) 前回アンケートの概要

■ 調査対象者

15歳以上の池田町民から無作為に1,000人を抽出した。

■ 調査期間

平成14年8月23日から9月20日までの間。

■ アンケート調査結果の概要

配付数	回答数	回答率
1,000	385	38.5%

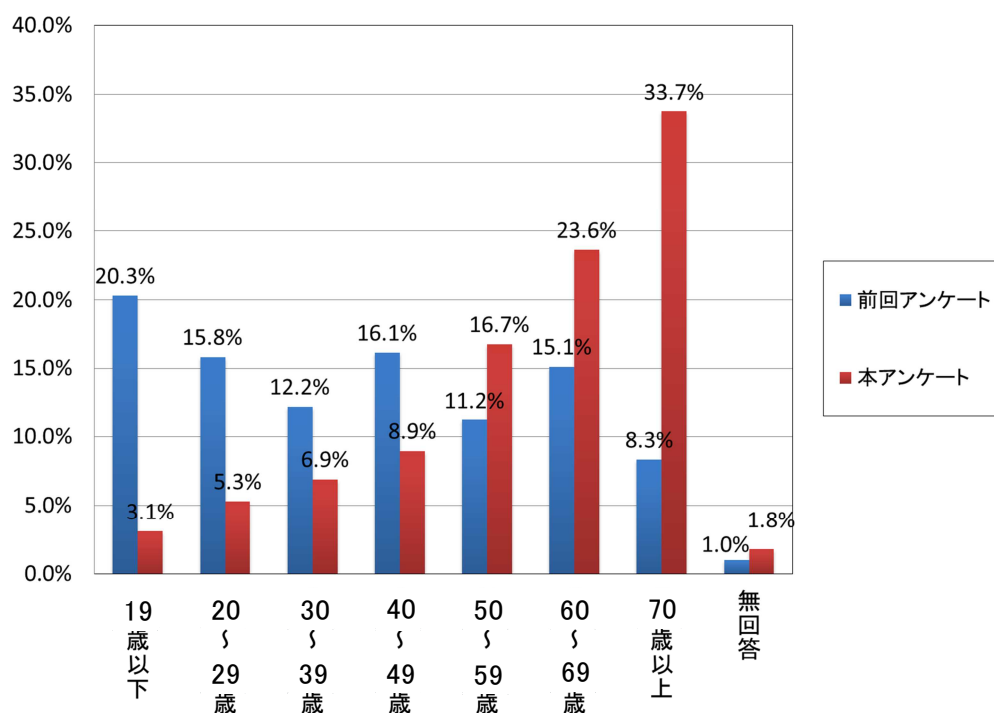


図3-2 年齢構成（割合）の比較



(2) アンケート調査結果の比較

前回アンケートの質問から、本アンケートと比較可能な項目を抽出し、回答の割合による比較を行った。

ア) インターネット利用状況

前回アンケートの結果と比較して、インターネット利用者の割合は約15%増加しており、三好市においても、徐々にインターネットの利用が浸透していることがうかがわれる。

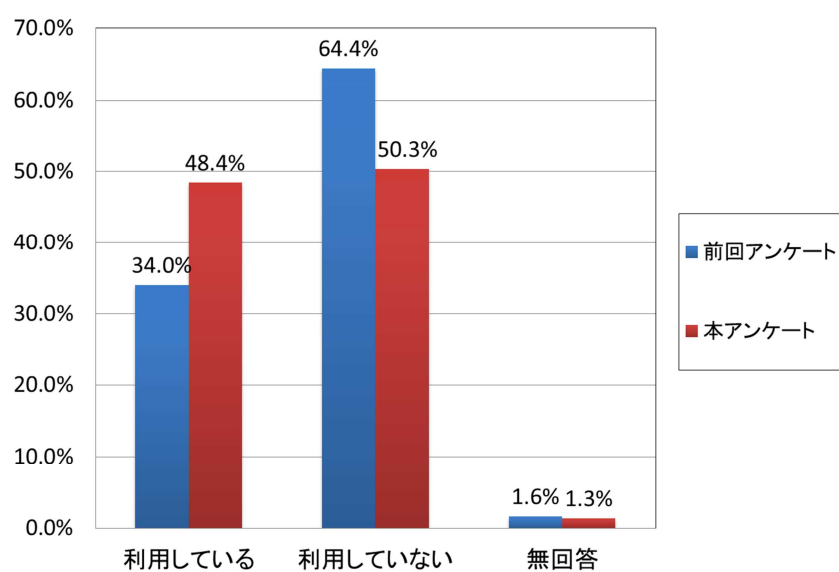


図33 インターネット利用状況の比較

イ) インターネット利用の意向

インターネット未利用者に対して行った、「今後、インターネットを利用したいか」の回答結果は、前回のアンケートと比較して、「利用したい」と答えた割合が約6割近く減少している結果となった。

減少した要因の1つとして、前回アンケートで「利用したい」と回答した層が、インターネット環境の整備に伴い、利用するようになったためと考えられる。

また、もう1つの要因として、図3-3に示す本アンケートにおける年齢別の利用意向の結果からも分かるとおり、年齢層が高くなるほど、「今度も利用しない」の割合が増加している傾向にあり、前回に比べ、高齢者の割合が高くなっていることも、「利用したい」の減少に影響していることが示唆される。

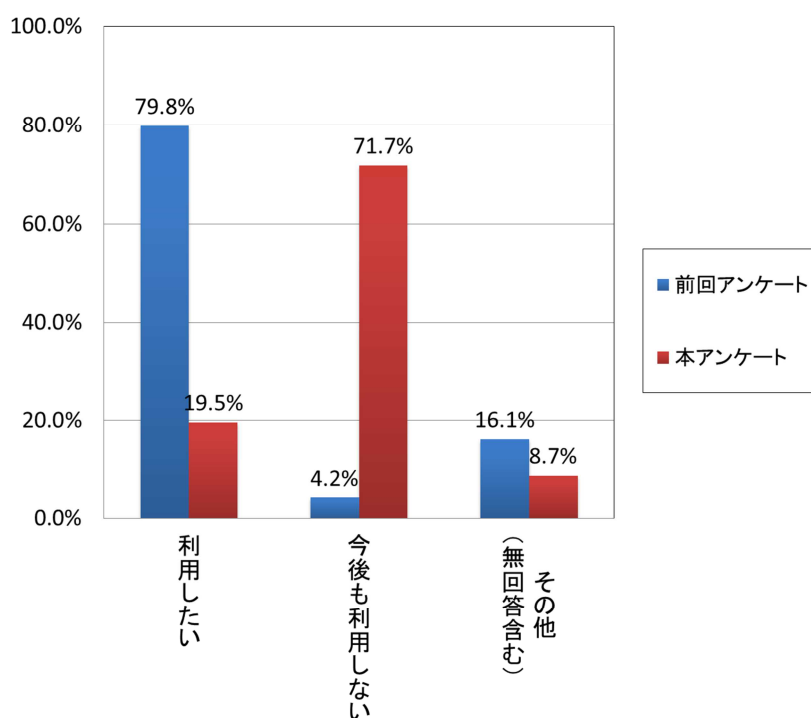


図3-4 インターネット利用の意向の比較

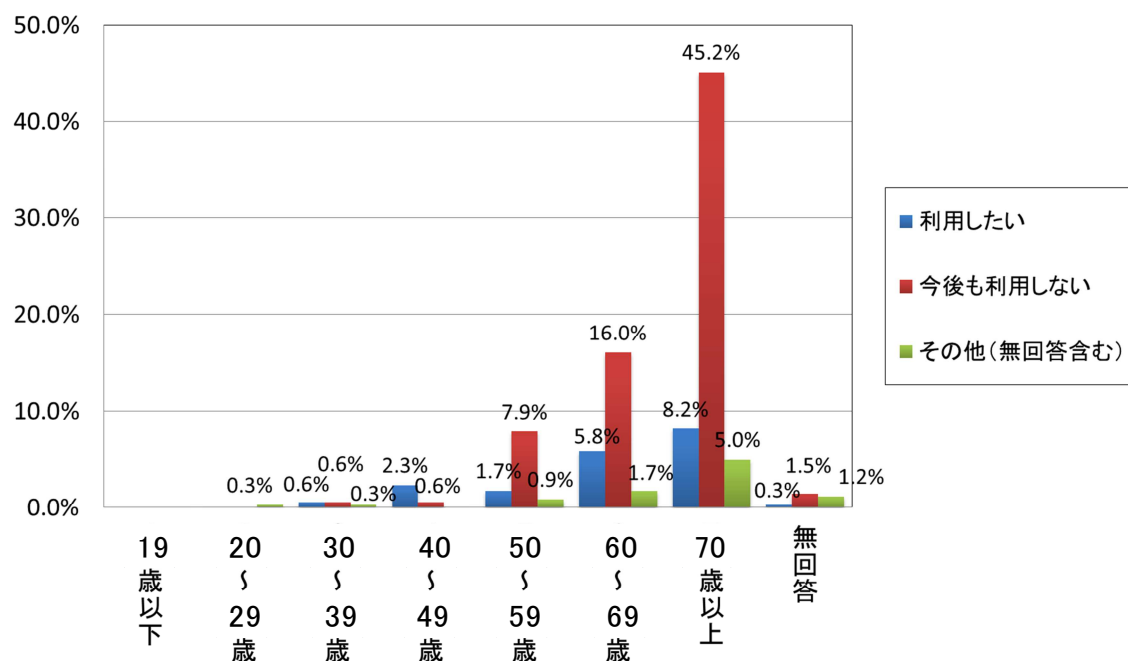


図35 インターネット利用の意向の比較（年齢別）

ウ) 情報入手方法

情報入手方法についての回答結果は、前回のアンケートと比較して、「テレビ」の割合が約20%増加しており、増加率が最も高く、続いて「新聞・広告」、「市報みよし」、「インターネット」も5%から10%前後の増加が見られた。また最も減少率が高かったのは「地域の回覧板」で、約30%減少している。

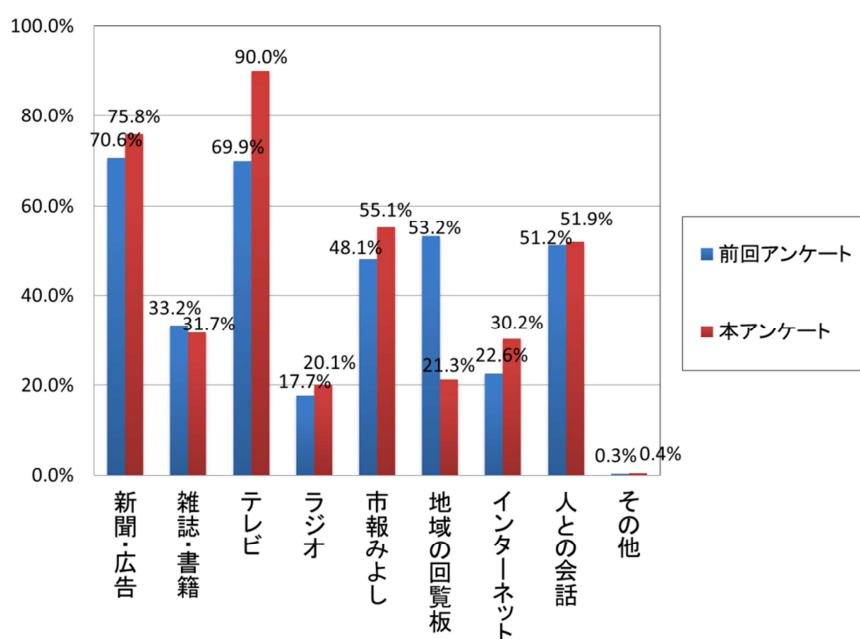


図36 情報入手方法の比較

※注1 本設問では、回答者数に対する各項目の回答者数の割合によって比較を行っている。

※注2 前回アンケートの「新聞」を本アンケートの「新聞・広告」、同じく「雑誌」を「雑誌・書籍」、「広報誌」を「広報みよし」、「ご近所の知り合い・友人・家族などロコミ」を「人との会話」と見做している。

エ) 今後の情報入手方法

今後の情報入手方法についての回答結果は、前回のアンケートと比較して、「CATVによって情報が得られるようになる」の割合が9%強増加しており、増加率が最も高く、続いて「現状のままでよい」も9%弱の増加となっている。また最も減少率が高かったのは「インターネットを利用して情報が得られるようになる」で、約30%減少している。

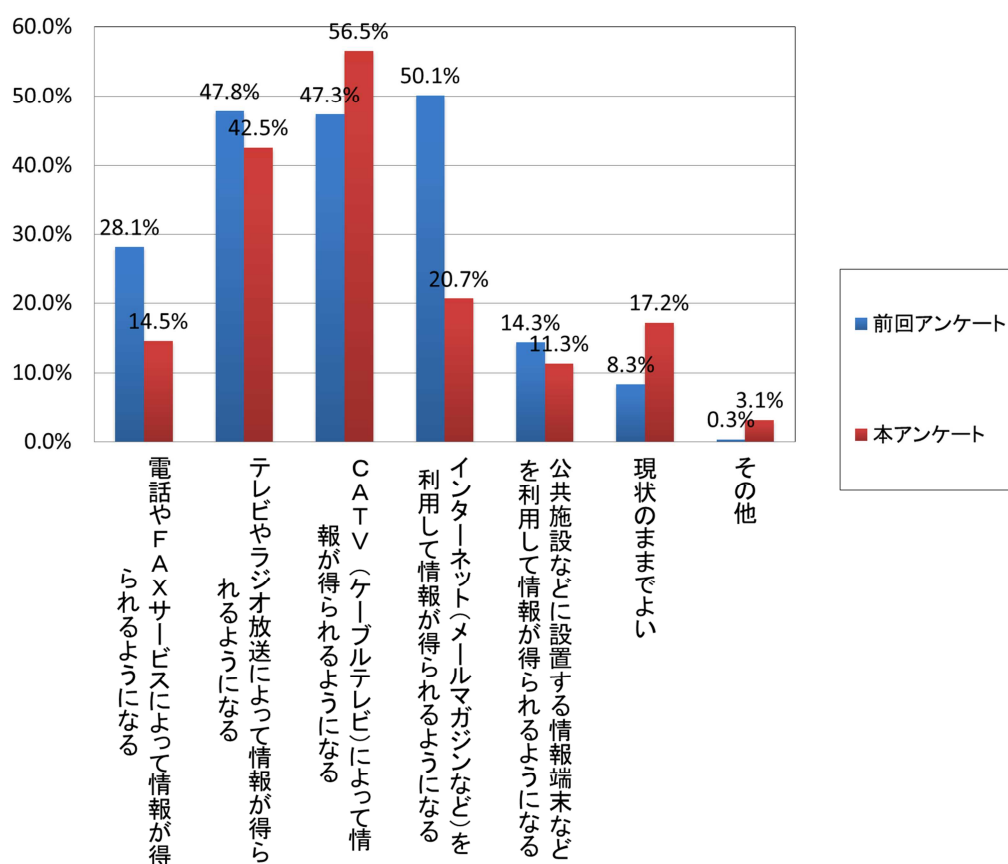


図37 今後の情報入手方法の比較

※注1 本設問では、回答者数に対する各項目の回答者数の割合によって比較を行っている。

#### 4. 資料 アンケート調査票

## 三好市地域情報化計画策定のためのアンケートのお願い

日頃、市政についてご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

三好市では現在、ICT（コンピュータやインターネットなどの通信ネットワークに関する技術）の利活用によって、市民サービスの向上や活力のあるまちづくりを推進するための指針となる「三好市地域情報化計画」の策定を進めています。

この計画の策定にあたり、市民の皆様が日常どのような情報やサービスを利用し要望を持っておられるかをお聞きし、より良い計画にするためアンケート調査を実施することにいたしました。

アンケートにご回答いただく方として、市内在住の15歳以上の方から、無作為に2,000名の皆様を選ばせていただきました。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮ではありますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容につきましては、他の目的に利用されることはありません。重ねてよろしくお願い申し上げます。

※ アンケート用紙の返送は、同封の返信用封筒で切手を貼らずにお送りください。

勝手なお願いで恐縮ですが、12月22日までにご返送くださるようお願いいたします。

平成26年12月

三好市役所 企画財政部情報政策課

設問は1. から9. まであります。回答は設問の中から該当する番号を○で囲むように記入してください。（例：1→①）また、お答えが「その他」にあてはまる場合は、（ ）内に具体的な内容を記入してください。

### 1. あなたご自身のことについて

#### 問1-1.

性別をお答えください。

1. 男性    2. 女性

#### 問1-2.

年齢をお答えください。

1. 19歳以下    2. 20～29歳    3. 30～39歳    4. 40～49歳  
5. 50～59歳    6. 60～69歳    7. 70歳以上

### 問1-3.

職業をお答えください。(○は1つ、兼業の場合は収入の多い方に○)

- |              |        |                   |
|--------------|--------|-------------------|
| 1. 会社員・公務員   | 2. 自営業 | 3. 団体職員           |
| 4. 農林水産業     | 5. 学生  | 6. 家事従事者(専業主婦・主夫) |
| 7. パート、アルバイト | 8. 無職  | 9. その他( )         |

### 問1-4.

居住地区をお答えください。

- |         |          |          |
|---------|----------|----------|
| 1. 三野地区 | 2. 池田地区  | 3. 山城地区  |
| 4. 井川地区 | 5. 東祖谷地区 | 6. 西祖谷地区 |

## 2. 情報化について

### 問2-1.

あなたは、次の言葉についてどの程度知っていますか。  
知っている度合を「1~3」で選択して、お答えください。

- 1. 言葉は知っているし、内容もよく知っている
- 2. 言葉は知っているが、内容はわからない
- 3. 知らない



- |                              |     |     |       |
|------------------------------|-----|-----|-------|
| ・情報化(じょうほうか)                 | < 1 | ・ 2 | ・ 3 > |
| ・IT(アイ・ティー)またはICT(アイ・シー・ティー) | < 1 | ・ 2 | ・ 3 > |
| ・インターネット                     | < 1 | ・ 2 | ・ 3 > |
| ・ホームページ                      | < 1 | ・ 2 | ・ 3 > |
| ・電子メール                       | < 1 | ・ 2 | ・ 3 > |
| ・電子申請                        | < 1 | ・ 2 | ・ 3 > |
| ・スマートフォン                     | < 1 | ・ 2 | ・ 3 > |
| ・Youtube(ユー・チューブ)            | < 1 | ・ 2 | ・ 3 > |
| ・ツイッター                       | < 1 | ・ 2 | ・ 3 > |
| ・SNS(エス・エヌ・エス)               | < 1 | ・ 2 | ・ 3 > |





### 問3-4.

問3-1で、「1~3」の中から回答された方にお尋ねします。インターネットに接続して、どのような機能（サービス）を利用していますか。（複数回答可）

1. 個人のホームページ・ブログの閲覧
2. 企業・政府などのホームページ・ブログの閲覧
3. 電子メールの送受信（メールマガジンは除く）
4. 電子掲示板・チャットの利用
5. 動画投稿サイト（Youtubeなど）の閲覧・投稿
6. ツイッターの閲覧・投稿
7. メールマガジンの受信
8. SNS（ミクシィ、グリー、モバゲー、フェイスブックなど）の利用
9. ホームページ（ブログは除く）の開設・更新
10. ニュースの閲覧
11. 気象・防災情報の閲覧
12. ブログの開設・更新
13. 電子ファイルの交換・ダウンロード
14. インターネットオークション
15. 電子政府・電子自治体の利用（電子申請、電子申告、電子届出）
16. デジタルコンテンツ（音楽、映像、ゲームソフト、電子書籍など）の入手・聴取
17. 金融取引（ネットバンキング・ネットトレードなど）
18. 商品・サービスの購入・取引（16と17は除く）
19. 地図情報提供サービス（乗換、ルート検索なども含む）
20. クイズ・懸賞応募
21. アンケート回答
22. オンラインゲームへの参加
23. 通信教育の受講
24. 在宅勤務（テレワークなど）
25. 就職・転職関係（求人情報、採用応募等）
26. その他（ ）

### 問3-5.

問3-1で、「1~3」の中から回答された方にお尋ねします。インターネットをどのくらいの頻度で利用していますか。

1. 毎日少なくとも1回
2. 週に少なくとも1回（毎日ではない）
3. 月に少なくとも1回（毎週ではない）
4. それ以下（年1回以上）

### 問3-6.

問3-1で、「1~3」の中から回答された方にお尋ねします。  
インターネットを利用して感じる不安や不満はありますか。(複数回答可)

1. 特に不満はない
2. 回線速度が遅い
3. 情報端末が高価
4. 通信料金が安い
5. 情報端末の操作が難しい
6. 迷惑メールが多い
7. 電子決済の信頼性に不安がある
8. ウイルスの感染が怖い
9. 有害情報が氾濫している
10. インターネット上での誹謗中傷、風評被害
11. 個人情報の流出の危険性がある
12. その他( )

### 問3-7.

問3-1で、「4. 利用していない」と回答された方にお尋ねします。  
インターネットを利用していない理由は何ですか。(複数回答可)

1. 利用する必要がない
2. 興味がない
3. インターネットを利用できる端末を持っていない
4. 電子メールは使わない
5. どのようなことができるかわからない
6. 利用方法がわからない
7. 個人情報の流出など、プライバシーの面で不安
8. 費用がかかる
9. 満足できる接続環境が整えられていない
10. 時間がない
11. その他( )

### 問3-8.

問3-1で、「4. 利用していない」と回答された方にお尋ねします。  
今後インターネットを利用したいですか。

1. 利用したい
2. 今後も利用しない



### 問3-10.

問3-1で「4. 利用していない」と回答された方にお尋ねします。  
インターネットを利用する上で感じる不安や不満はありますか。(複数回答可)

1. 特に不満はない
2. 回線速度が遅い
3. 情報端末が高価
4. 通信料金が安い
5. 情報端末の操作が難しい
6. 迷惑メールが多い
7. 電子決済の信頼性に不安がある
8. ウイルスの感染が怖い
9. 有害情報が氾濫している
10. インターネット上での誹謗中傷、風評被害
11. 個人情報の流出の危険性がある
12. その他 ( )

### 問3-11.

インターネットの知識や技術を習得するためには、どのような方法がよいと思いますか。  
(複数回答可)

1. 最寄りの公共施設において自治体主催のパソコン講習会を実施
2. 地域の集会場などを利用してボランティアによるパソコン講習会を実施
3. 学校教育において知識や技術を習得する
4. 民間のパソコン教室を利用する
5. 自主学習
6. その他 ( )

## 4. 三好市内の通信基盤の状況について

### 問4-1.

あなたは、ケーブルテレビの整備によって、市内全域で高速(光)インターネットの利用が可能になったことを知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない



## 6. 必要な情報の種類について

### 問6-1.

三好市内からの情報で、あなたが必要としている、又は関心のある情報はどのようなものがありますか。（複数回答可）

1. 市議会や条例などの行政に関する情報
2. 役場への届け出・手続きに関する情報
3. 急病などに対応できる病院案内などの救急医療や病院の情報
4. 災害や防災に関する情報（緊急情報、安否情報、救援物資情報など）
5. 不審者や犯罪の発生などの防犯に関する情報
6. 住民票・年金・税金などの暮らしの情報
7. 市が運営する施設（体育館、公民館など）についての情報
8. スポーツに関する情報
9. 商業、工業（製造業）のいろいろな情報
10. 農業、林業、水産業のいろいろな情報
11. 地域の局所的な気象情報
12. ショッピング情報やリサイクル情報などの情報
13. 町内の出来事・催しもの情報
14. 高齢者介護、ボランティア活動などの福祉情報
15. 健康づくり、子育てなどの健康・保健情報
16. ごみ処理の日程など生活環境に関する情報
17. 普段の生活での様々な悩み事に関する相談や窓口に関する情報
18. 学校行事や教育に関する情報
19. 講習会、市民講座などの趣味や生涯学習に関する情報
20. 本の検索を含めた図書館情報
21. 名所案内や宿泊案内などの観光に関する情報
22. 各種イベントの開催や催しものの情報
23. 公共施設の位置や災害・事故発生場所などの地図情報
24. 入札・工事に関する情報
25. 市の経済・産業に関する情報
26. 市の統計・調査に関する情報
27. 市の財政や組織などに関する情報
28. 特にない
29. その他（）

## 7. 三好市のホームページについて

### 問7-1.

市のホームページについて、どのような感想をお持ちですか。（複数回答可）

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 利用していない・わからない  | 2. 情報をみつけやすい     |
| 3. 情報がみつけにくい      | 4. 必要な情報が掲載されている |
| 5. 必要な情報が掲載されていない | 6. 便利なサービスが多い    |
| 7. 便利なサービスが少ない    | 8. 文章がわかりやすい     |
| 9. 文章がわかりにくい      |                  |
| 10. その他（          | ）                |

### 問7-2.

市のホームページなどでよく閲覧しているサイトはありますか。（複数回答可）

1. 三好市ホームページ
2. 三好市教育委員会ホームページ
3. 三好市議会ホームページ
4. 三好市観光サイト
5. 子育て・健康応援サイト「元気はぐくみみよし」ホームページ
6. 市立診療所・市立三野病院ホームページ
7. 三好市定住交流支援サイト「ほんなら三好市」
8. 三好ブランド構築委員会フェイスブック「三好の旬感」
9. 三好やまびこふるさと会ホームページ「三好の特産品 三好の逸品」
10. どのホームページも知らない
11. その他（

### 問7-3.

市のホームページなどでよく利用しているサービスはありますか。（複数回答可）

- |                         |                |
|-------------------------|----------------|
| 1. 三好市地図情報ライブカメラ        | 2. 三好市市民公開型GIS |
| 3. イベントカレンダー            | 4. 申請書ダウンロード   |
| 5. 図書館蔵書検索・予約システム       |                |
| 6. 公民館・体育館などの施設予約システム   |                |
| 7. 市例規集検索               |                |
| 8. 市議会会議録検索             |                |
| 9. 電子申請（ふるさと納税・市職員採用試験） |                |
| 10. エルタックス（税の申告・申請など）   |                |
| 11. どのサービスも知らない         |                |
| 12. その他（                | ）              |



## 8. 市の情報化への期待と不安について

### 問8-1.

今後、本市のまちづくりを進める上で、より充実していくべき情報化の分野は何だと思  
いますか。(複数回答可)

1. 地域コミュニティ活動支援(市民参画への活用)
2. 情報公開の推進
3. インターネットによる申請届出(電子申請)やコンビニでの証明書交付の導入など
4. 電子マネー・クレジットカードなどによる税、使用料、手数料などの支払い
5. メールマガジンの発行
6. 環境対策(自然保護の情報発信など)
7. 観光の活性化(観光関連ホームページの充実など)
8. 経済の活性化(中小企業への情報化支援など)
9. 国際交流の推進(外国語版ホームページの充実や外国語対応など)
10. 子育てに関する情報提供や支援の充実
11. 高齢者や障がい者福祉の充実(介護サービスを含む)
12. 健康・医療サービスの充実
13. 危機管理・防災の充実
14. IT教育の推進(小中高でのIT機器の導入、ネットリテラシー教育など)
15. 生涯学習の充実(高齢者向けのパソコン講座の充実など)
16. 交通環境の充実(交通安全に関する情報の発信など)
17. 特にない
18. その他( )

### 問8-2.

市が情報化を進めるにあたって、特に注意すべき点は何だと思  
いますか。(複数回答可)

1. 個人情報については、プライバシーが守られるよう、厳重に注意する
2. 機器の操作はできるだけ簡単なものにする
3. 機器の使い方についての講習などが受けられる場所や機会を確保する
4. 適切で信頼性の高い情報提供を行う
5. 情報化推進組織を充実させる
6. CATV(ケーブルテレビ)網などの高速大容量ネットワーク基盤整備を行う
7. その他( )

### 問8-3.

あなたが将来の情報化社会に期待することはどのようなことですか。

(複数回答可)

1. 家にいながらデパート、スーパー、専門店などの商品情報や販売価格リストによって商品の注文ができ、その代金の自動振り込みができる
2. 家にいながら健康状態を伝え、医師の診断・指示を受けたり、急患の場合の救急病院の案内・応急処置の仕方などの情報が得られる
3. 様々な教育・学習プログラムにより、年齢に関係なく誰もが自宅で学習・教養を高めることができ、未就学児・幼稚園児の教育、学校教育の補修、通信教育の副教材として活用できる
4. 勤務先へ行かなくとも、日常業務を家にいながらにして処理できるようになる
5. 外出先から電話などを通じて電気やガスなどのスイッチを入れたり・切ったり、戸締り確認ができたり、さらに火災や盗難などを自動的に消防署や警察に通報できるなど防犯・防災機能の充実
6. 全国どこからでも家にいながらにして住民票や戸籍謄本などの各種証明の申請ができる
7. 郵便局・コンビニ・最寄りの公共施設などから様々な行政サービスが利用できる
8. ニュース、天気予報、健康、子育て、趣味などの情報、公共団体のお知らせ、地域情報などいろいろな分野の情報がほしいときにすぐ入手できる
9. 農業技術・病害虫対策など農業情報の充実
10. 情報端末などがいつでも自由に利用できる施設が整備されている
11. その他 ( )

## 9. 市の情報化について

### 自由回答

市の情報化について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。



# 三好市地域情報化計画

平成 27 年 3 月

編集・発行

徳島県三好市 企画財政部 情報政策課

〒778-8501

三好市池田町シンマチ 1500 番地 2

TEL 0883-72-7641

FAX 0883-72-7203

E-Mail [jyouhouseisaku@city.tokushima-miyoshi.lg.jp](mailto:jyouhouseisaku@city.tokushima-miyoshi.lg.jp)